# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

09-295970

(43)Date of publication of application: 18.11.1997

(51)Int.Cl.

CO7D235/06 A61K 31/415 A61K 31/415 A61K 31/415 A61K 31/42 A61K 31/42 A61K 31/42 A61K 31/42 A61K 31/425 A61K 31/425 A61K 31/425 A61K 31/425 A61K 31/425 C07D235/12 C07D413/12 C07D417/12 //(CO7D413/12 C07D235:12 C07D263:20 (C07D413/12 C07D235:06 C07D263:20 ) (C07D413/12 C07D235:12 C07D271:06 ) (C07D413/12 C07D235:06 C07D271:06 (C07D417/12 C07D235:12 C07D277:34 (C07D417/12 C07D235:06 C07D277:34

(21)Application number: 08-137930

(22)Date of filing:

31.05.1996

(71)Applicant:

SANKYO CO LTD

**FUJITA TAKESHI** (72)Inventor:

**WADA KUNIO OGUCHI MINORU** YANAGISAWA HIROAKI **FUJIMOTO KOICHI** FUJIWARA TOSHIHIKO HORIKOSHI HIROYOSHI YOSHIOKA TAKAO

(30)Priority

Priority number: 07135097

08 45845

Priority date: 01.06.1995

04.03.1996

Priority country: JP

JP

(54) CONDENSED HETEROCYCLIC COMPOUND

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new compound that has excellent blood sugar reductive action, etc., and is useful for improving such symptoms as insulin resistance, hyperlipidemia, hyperglycemia, gestational diabetes, adiposity, glucose tolerance insufficiency, diabetic complications, arteriosclerosis, cataract, polysistic ovary

syndrome, etc. SOLUTION: This new compound of formula I (X is a benzimidazole ring; Y is O or S; Z is thiazolidine-2,4-dion-5-ylmethyl, etc.; R is H, a 1-4C alkyl, a halogen, etc.; (m) is 1-5), e.g. 5-[4-(1-methylbenzimidazole-2-ylmethoxy)benzyl] thiazoline-2,4-dion, is obtained by reducing a compound of formula II (R' is a 1-5C alkyl), and then by a photoreaction of the reduced compound, or by a catalytic hydrogenation of the compound of formula II. This new compound has aldose reductase inhibitory action, 5-

I

X-(CH1) CO2R'

Π

lipoxygenase inhibitory action and peroxylipid formation-inhibitory action.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

05.02.1999

2976885

10.09.1999

### (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

## 特開平9-295970

(43)公開日 平成9年(1997)11月18日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	FI	/oc		技術表示箇所
C 0 7 D 235/06			C 0 7 D 235			
A61K 31/415	ABJ		A61K 31	/415	AB J	
	ABU				ABU	
	ACN				ACN	
31/42	ACS		31	/42	ACS	
31/42	ACS	審查請求	未請求 請求項	の数41 OI	(全169頁)	最終頁に続く
(21)出願番号	特顧平8-137930		(71)出願人	000001856	21.	
(22)出顧日	平成8年(1996)5	月31日	(72)発明者	三共株式会 東京都中央 藤田 岳	吐 区日本橋本町3	丁目5番1号
(31)優先権主張番号	特願平7-135097	п	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		区広町1丁目2	番58号 三共株
(32) 優先日 (33) 優先権主張国 (31) 優先権主張番号	平7(1995)6月1 日本(JP) 特願平8-45845		(72)発明者	和田 邦雄		2番58号 三共株
(32) 優先日 (33) 優先権主張国	平8 (1996) 3月4 日本 (JP)	日	(72)発明者	式会社内 小口 実 東京都島川	区広町1丁目2	2番58号 三共株
			(74)代理人	式会社内		ト2名) 最終頁に続く

### (54) 【発明の名称】 縮合複素環化合物

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 優れた血糖低下作用等を有する縮合複素環化 合物の提供。

【解決手段】一般式 (1) X —(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> Y — Z (1

を有する縮合複素環化合物またはその塩、ならびに有効成分として当該化合物を含有する医薬。 [式中、Xはベンズイミダゾール環基を示し、該基は1ないし5個の後述する置換分(a)を有していてもよい。Yは酸素原子などを示す。Zはチアゾリジンー2、4ージオンー5ーイルメチル基などを示す。Rは水素原子などを示す。mは1ないし5の整数を示す。置換分(a)はアルキル基などを示す。〕

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 一般式(1)

【化1】

$$X \longrightarrow (CH_2)_{\overline{m}} Y \longrightarrow Z$$
(1)

を有する縮合複素環化合物またはその塩。但し、式中、 X はペンズイミダゾール環基を示し、該基は 1 ないし5 個の後述する置換分(a)を有していてもよい。 Y は酸 素原子または硫黄原子を示す。 Z は

【化2】

を示す。Rは水素原子、炭素数1ないし4個を有する直 鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハ ロゲン原子、ヒドロキシ基、ニトロ基、置換分(b)を 有していてもよいアミノ基(該置換分(b)は炭素数1 ないし8個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル 基、炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝 鎖状のアラルキル基、炭素数6ないし10個を有するア リール基、炭素数1ないし11個を有する直鎖状もしく は分枝鎖状の脂肪族アシル基、炭素数8ないし12個を 有する芳香脂肪族アシル基または炭素数7ないし11個 を有する芳香族アシル基を示す。)または炭素数7ない し11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル 基を示す。mは1ないし5の整数を示す。ここに、置換 分(a)は炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは 分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直 鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ベンジルオキシ 基、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、アセトキシ基、フェ ニルチオ基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしく は分枝鎖状のアルキルチオ基、トリフルオロメチル基、 ニトロ基、置換分(b)を有していてもよいアミノ基 (該置換分(b)は炭素数1ないし8個を有する直鎖状 もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数7ないし11個 を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基、炭素 数6ないし10個を有するアリール基、炭素数1ないし 1 1 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の脂肪族アシル 基、炭素数8ないし12個を有する芳香脂肪族アシル基 または炭素数7ないし11個を有する芳香族アシル基を 示す。)、置換分(c)を有していてもよい炭素数6な いし10個を有するアリール基(該置換分(c)は炭素 数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアル キル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、ニトロ基、フェニル基、トリフルオロメチル基、置換分(b)を有していてもよいアミノ基)、または置換分

(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基を示す。

【請求項2】 [請求項1] において、Rが水素原子、 炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の アルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしく は分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原子である縮合複 素環化合物またはその塩。

【請求項3】 [請求項1] において、Yが酸素原子である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項4】 [請求項1] において、Zが2, 4ージオキソチアゾリジン-5ーイルメチル基、2, 4ージオキソチアゾリジン-5ーイリデニルメチル基または2, 4ージオキソオキサゾリジン-5ーイルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項5】 [請求項1] において、

Rが水素原子、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原子であり、

Yが酸素原子であり、

Zが2, 4ージオキソチアゾリジン-5ーイルメチル基、2, 4ージオキソチアゾリジン-5ーイリデニルメチル基または2, 4ージオキソオキサゾリジン-5ーイルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項6】 [請求項1] において、Zが2, 4ージオキソチアゾリジン-5-イルメチル基または2, 4ージオキソチアゾリジン-5-イリデニルメチル基である

縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項7】 [請求項1] において、Rが水素原子、 メチル基、メトキシ基、エトキシ基、フッ素原子または 塩素原子である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項8】 [請求項1] において、mが1ないし3 の整数である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項9】 [請求項1] において、

Yが酸素原子であり、

Zが2、4ージオキソチアゾリジン-5ーイルメチル基または2、4ージオキソチアゾリジン-5ーイリデニルメチル基であり、

Rが水素原子、メチル基、メトキシ基、エトキシ基、フッ素原子または塩素原子であり、

mが1ないし3の整数である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項10】 [請求項1] において、Xが1ないし5個の下記置換分(a')を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a')は炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ベンジルオキシ基、ハロゲン原子、フェニルチオ基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキルチオ基、トリフルオロメチル基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項11】 [請求項1] において、乙が2, 4-ジオキソオキサゾリジン-5-イルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項12】 [請求項1] において、Rが水素原子、メチル基またはメトキシ基である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項13】 [請求項1]において、

Xが1ないし5個の下記置換分(a')を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a')は炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ベンジルオキシ基、ハロゲン原子、フェニルチオ基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキルチオ基、トリフルオロメチル基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、であり、

Yが酸素原子であり、

Zが2、4ージオキソオキサゾリジン-5-イルメチル 基であり、

Rが水素原子、メチル基またはメトキシ基であり、 mが1ないし3の整数である縮合複素環化合物またはそ の塩。

【請求項14】 [請求項1] において、Xが1ないし 5個の下記置換分(a'') を有していてもよいベンズイ ミダゾール環基:置換分(a'') はメチル基、エチル 基、イソプロピル基、メトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ベンジルオキシ基、フッ素原子、塩素原子、フェニルチオ基、メチルチオ基、エチルチオ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項15】 [請求項1] において、Rが水素原子である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項16】 [請求項1] において、mが1または 2である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項17】 [請求項1]において、

Xが1ないし5個の下記置換分(a'')を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a'')はメチル基、エチル基、イソプロピル基、メトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ベンジルオキシ基、フッ素原子、塩素原子、フェニルチオ基、メチルチオ基、エチルチオ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、であり、

Yが酸素原子であり、

Zが2, 4ージオキソチアゾリジン-5-イルメチル基であり、

Rが水素原子であり、

mが1または2である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項18】 [請求項1] において、Xが1ないし5個の下記置換分(a''') を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a''') はメチル基、メトキシ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基またはベンジル基である、である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項19】 [請求項1] において、mが1である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項20】 [請求項1]において、

×が1ないし5個の下記置換分(a''') を有していて もよいベンズイミダゾール環基: 置換分(a''') はメ チル基、メトキシ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基また はベンジル基である、であり、

Yが酸素原子であり、

Zが2、4ージオキソチアゾリジン-5-イルメチル基であり、

Rが水素原子であり、

mが1である縮合複素環化合物またはその塩。

【請求項21】 5- [4-(1-メチルベンズイミダ ゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩、

5- [4-(6-メトキシ-1-メチルペンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー 2, 4-ジオンまたはその塩、

5- [4-(5-メトキシ-1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー 2. 4-ジオンまたはその塩、

5- [4-(1-ペンジルペンズイミダゾール-5-イ

ルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー 2. 4 ージオン またはその塩、

5- [4-(5-ヒドロキシー1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ)ベンジル] チアゾリジンー2, 4ージオンまたはその塩、あるいは5- [4-(5-アセトキシー1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ)ベンジル] チアゾリジンー2, 4ージオンまたはその塩。 【請求項22】 5- [4-(1-メチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ)ベンジル] チアゾリジンー2, 4ージオンまたはその塩。

【請求項23】 5- [4-(6-メトキシ-1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩。

【請求項24】 5- [4-(5-メトキシ-1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩。

【請求項25】 5- [4-(1-ベンジルベンズイミダゾール-5-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩。

【請求項26】 5- [4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩。

【請求項27】 5- [4-(5-アセトキシ-1,4,6,7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ)ベンジル]チアゾリジン-2,4-ジオンまたはその塩。

【請求項28】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分して含有する医薬。

【請求項29】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、インスリン抵抗性に起因する疾病の予防薬および/または治療薬。

【請求項30】 [請求項1] ないし [請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、高血糖症予防薬および/または治療薬。

【請求項31】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、糖尿病合併症の予防薬および/または治療薬。

【請求項32】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、動脈硬化症予防薬および/または治療薬。

【請求項33】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、高脂血症予防薬および

/または治療薬。

【請求項34】 [請求項1] ないし [請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、肥満症予防薬および/または治療薬。

【請求項35】 [請求項1]ないし[請求項27]のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、耐糖能不全予防薬および/または治療薬。

【請求項36】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、高血圧症予防薬および/または治療薬。

【請求項37】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、多嚢胞卵巣症候群予防薬および/または治療薬。

【請求項38】 [請求項1] ないし [請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、妊娠糖尿病予防薬および/または治療薬。

【請求項39】 [請求項1]ないし[請求項27]のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、インスリン抵抗性非耐糖能不全予防薬および/または治療薬。

【請求項40】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、炎症性疾患予防薬および/または治療薬。

【請求項41】 [請求項1] ないし[請求項27] のいずれか1項に記載された縮合複素環化合物もしくはその塩を有効成分として含有する、白内障予防薬および/または治療薬。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明はインスリン抵抗性、 高脂血症、高血糖症、妊娠糖尿病(gestationaldiabete s mellitus : G D M)、肥満症、耐糖能不全(impaire d glucose tolerance: I G T)状態、糖尿病合併症

(例えば網膜症、腎症、神経症、白内障、冠動脈疾患等)、動脈硬化症、白内障および多嚢胞卵巣症候群(polycystic ovarysyndrome: PCOS)等を改善し、更にアルドース還元酵素阻害作用、5ーリポキシゲナーゼ阻害作用および過酸化脂質生成抑制作用を有する新規な縮合複素環化合物またはその塩に関する。

【〇〇〇2】更に本発明は、縮合複素環化合物またはその塩を有効成分として含有する、高脂血症、高血糖症、肥満症、耐糖能不全、高血圧症、骨粗鬆症、悪液質、脂肪肝、糖尿病合併症、動脈硬化症、白内障等の予防薬および/または治療薬、および上記疾病以外の、妊娠糖尿

病、多嚢胞卵巣症候群等のようなインスリン抵抗性に起 因する疾病の予防薬および/または治療薬、ならびに炎 症性疾患(例えば骨関節炎、、疼痛、発熱、リウマチ性 関節炎、炎症性腸炎等)、アクネ、日焼け、乾癬、湿 疹、アレルギー性疾患、喘息、GI潰瘍、心血管性疾患 (例えば虚血性心疾患等)、アテローム性動脈硬化症お よび虚血性疾患により惹起される細胞損傷(例えば卒中 により惹起される脳損傷等)等の予防薬および/または 治療薬に関する。

#### [0003]

【従来の技術】従来、糖尿病、高血糖症治療薬として、インシュリンおよびトリブタミド、グリピジド等のスルホニル尿素化合物が使用されているが、最近、インシュリン非依存性糖尿病治療薬として、チアゾリジンジオン誘導体が知られている。

【0004】 (1) 血糖低下作用を有するチアゾリジン化合物としては、数多くのものが知られている。例えば特開昭55-22636号(特公昭62-42903号)、特開昭60-51189号(特公平2-31079号)、Y. KAWAMATSUら、Chem. Pharm. Bull., 30巻、3580-3600頁(1982年)、ヨーロッパ特許公開第0441605号などである。

【0005】(2) 更に、複素環基を含む化合物としては、例えば特開昭61-286376号、特開平5-213913号、W092/07850A号(=特表平6-502144号)、W092/07839A号(=特表平6-502146号)、特開昭61-85372号、特開平1-131169号、特開平2-83384号などに開示されている。

【0006】(3) また、血糖低下作用を有するオキサゾリジン-2, 4-ジオン化合物が、特開平3-170478号、WO92/02520A号などに開示されている。

(4) 更に、Nーヒドロキシウレイド基または3,5ージオキソオキサジアゾリジンー2ーイルメチルフェニル基を含む化合物で同様の活性を有する化合物が、WO92/03425A号(=特表平5-508654号)に開示されている。しかし、これらの化合物は、活性が十分でない、安全性に問題を有する、等の欠点を有する。そして臨床上、さらに強力で安全なこれら疾病の予防薬および/または治療薬が望まれている。

【0007】そして、チアゾリジン系化合物と各種疾病の関係が、例えば以下に示す文献に記載されている。

【 O O O 8 】高血糖症に対するチアゾリジン系化合物の作用がDiabetes., 32(9), 804-810(1983): Diabetes., 37(11), 1549-1558(1988): Prog. Clin. Biol. Res., 265, 177-192(1988): Metabolism., 37(3), 276-280(1988): Arznei mittelforschung., 40(1), 37-42(1990): Arzneimittelforschung., 40(2 Pt 1), 156-162(1990): Arzneimittelforschung., 40(3), 263-267(1990) などで報告されている。

【OOO9】高脂血症に対するチアゾリジン系化合物の作用がDiabetes., 40(12), 1669-1674(1991); Am. J. Physiol., 267(1 Pt 1), E95-E101(1994); Diabetes., 43(10), 1203-1210(1994)などで報告されている。

【 O O 1 O 】耐糖能不全、インスリン抵抗性に対するチアゾリジン系化合物の作用がArzneimittel forschung. . 4 0(2 Pt 1). 156-162 (1990): Metabolism. , 40 (10). 1025-1 230 (1991): Diabetes. , 43 (2). 204-211 (1994): N. Engl. J. Med. , 331 (18). 1226-1227 (1994) などで報告されている。

【OO11】高血圧症に対するチアゾリジン系化合物の作用がMetabolism.,42(1),75-80(1993); Am. J. Physio I.,265(4 Pt 2),R726-R732(1993); diabetes.43(2),204-211(1994)などで報告されている。

【OO12】悪液質に対するチアゾリジン系化合物の作用がEndocrinology., 135(5), 2279-2282(1994); Endocrinology., 136(4), 1474-1481(1995) などで報告されている。

【0013】腎症に対するチアゾリジン系化合物の作用が糖尿病、第38巻臨時増刊号(1995年)で報告されている。

【OO14】冠動脈疾患に対するチアゾリジン系化合物の作用がAm. J. Physiol., <u>265(4 Pt 2)</u>, R726-R732(1993); Hypertension., <u>24(2)</u>, 170-175(1994) などで報告されている。

【OO15】動脈硬化症に対するチアゾリジン系化合物 の作用がAm. J. Physiol., <u>265(4 Pt\_2)</u>, R726-R732(1993) で報告されている。

【0016】更に、近年、耐糖能不全を伴わないインスリン抵抗性を有する正常人が糖尿病を発症するリスクが高い [インスリン抵抗性非耐糖能不全 (insulin resist antnon-IGT: NGT) という。] ことがN. Engl. J. Med., 3 31 (18), 1226-1227 (1994) で報告されている。インスリン抵抗性を改善する医薬は上記のような正常人の糖尿病発症の予防薬として有用であることが示唆される。

#### [0017]

【発明が解決しようとする課題】本発明者らは、インスリン抵抗性、高脂血症、高血糖症、妊娠糖尿病、肥満症、耐糖能不全状態、糖尿病合併症、動脈硬化症、白内障および多嚢胞卵巣症候群等を改善し、更にアルドース還元酵素阻害作用、5ーリポキシゲナーゼ阻害作用および過酸化脂質生成抑制作用を有する誘導体の合成とその薬理活性について鋭意研究をおこなった結果、新規な縮合複素環化合物が優れた薬理活性を有することを見出して本発明を完成した。

【0018】更に、本発明のほかの目的は、該縮合複素 環化合物および/またはその塩を有効成分として含有す る高脂血症、高血糖症、肥満症、耐糖能不全、高血圧 症、骨粗鬆症、悪液質、脂肪肝、糖尿病合併症、動脈硬 化症、白内障等の予防薬および/または治療薬、および 上記疾病以外の、妊娠糖尿病、多嚢胞卵巣症候群等のようなインスリン抵抗性に起因する疾病の予防薬および/または治療薬、ならびに炎症性疾患、アクネ、日焼け、乾癬、湿疹、アレルギー性疾患、喘息、GI潰瘍、心血管性疾患、アテローム性動脈硬化症および虚血性疾患により惹起される細胞損傷等の予防薬および/または治療薬を提供することにある。

[0019]

【課題を解決するための手段】本発明は、(1) 一般 式(1)

[0020]

[化3]

【0026】(以下、これらを 2、4ージオキソチア ゾリジン-5ーイリデニルメチル基、2、4ージオキソ チアゾリジン-5ーイルメチル基、 2、4ージオキソ オキサゾリジン-5ーイルメチル基、 3、5ージオキ ソオキサジアゾリジン-2ーイルメチル基およびNーヒ ドロキシウレイドメチル基という)を示す。

【0027】 Rは水素原子、炭素数 1 ないし 4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数 1 ないし 4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、ニトロ基、置換分

(b)を有していてもよいアミノ基(該置換分(b)は 炭素数1ないし8個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の アルキル基、炭素数7ないし11個を有する直鎖状もし くは分枝鎖状のアラルキル基、炭素数6ないし10個を 有するアリール基、炭素数1ないし11個を有する直鎖 状もしくは分枝鎖状の脂肪族アシル基、炭素数8ないし 12個を有する芳香脂肪族アシル基または炭素数7ない し11個を有する芳香族アシル基を示す。)または炭素 数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のア ラルキル基を示す。

【0028】mは1ないし5の整数を示す。

【0029】ここに、置換分(a)は炭素数1ないし4

【0021】を有する縮合複素環化合物またはその塩に 関する。

【OO22】但し、式中、Xはベンズイミダゾール環基を示し、該基は1ないし5個の後述する置換分(a)を有していてもよい。

【OO23】Yは酸素原子または硫黄原子を示す。

【0024】Zは

[0025]

【化4】

個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素 数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアル コキシ基、ベンジルオキシ基、ハロゲン原子、ヒドロキ シ基、アセトキシ基、フェニルチオ基、炭素数1ないし 4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキルチオ 基、トリフルオロメチル基、ニトロ基、置換分(b)を 有していてもよいアミノ基(該置換分(b)は炭素数1 ないし8個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル 基、炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝 鎖状のアラルキル基、炭素数6ないし10個を有するア リール基、炭素数1ないし11個を有する直鎖状もしく は分枝鎖状の脂肪族アシル基、炭素数8ないし12個を 有する芳香脂肪族アシル基または炭素数7ないし11個 を有する芳香族アシル基を示す。)、置換分(c)を有 していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール 基(該置換分(c)は炭素数1ないし4個を有する直鎖 状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個 を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロ ゲン原子、ヒドロキシ基、ニトロ基、フェニル基、トリ フルオロメチル基、置換分(b)を有していてもよいア ミノ基)、または置換分(c)を有していてもよい炭素 数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のア ラルキル基を示す。

【0030】上記化合物中、好適な化合物は、(2) (1) において、Rが水素原子、炭素数1ないし4個を 有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1 ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキ シ基、ハロゲン原子である縮合複素環化合物またはその (1)において、Yが酸素原子である縮合 塩、(3) 複素環化合物またはその塩、および(4) (1)にお いて、Zが2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメ チル基、2、4ージオキソチアゾリジン-5-イリデニ ルメチル基または2, 4-ジオキソオキサゾリジン-5 ーイルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩で あり、特に好適な化合物は、(5) (1) において、 Rが水素原子、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もし くは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有す る直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原 子であり、Yが酸素原子であり、Zが2、4ージオキソ チアゾリジン-5-イルメチル基、2、4-ジオキソチ アゾリジンー5ーイリデニルメチル基または2、4ージ オキソオキサゾリジンー5ーイルメチル基である縮合複 素環化合物またはその塩である。

【0031】より好適な化合物としては、(6)

(1) において、Zが2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメチル基または2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイリデニルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩、(7) (1) において、Rが水素原子、メチル基、メトキシ基、エトキシ基、フッ素原子または塩素原子である縮合複素環化合物またはその塩、および

(8) (1)において、mが1ないし3の整数である縮合複素環化合物またはその塩であり、特に好適な化合物は、(9) (1)において、Yが酸素原子であり、Zが2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメチル基または2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイリデニルメチル基であり、Rが水素原子、メチル基、メトキシ基、フッ素原子または塩素原子であり、mが1、2または3である縮合複素環化合物またはその塩である。

【0032】更に好適な化合物は、(10) (1)において、Xが1ないし5個の下記置換分(a')を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a')は炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ベンジルオキシ基、ハロゲン原子、フェニルチオ基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキルチオ基、トリフルオロメチル基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、である縮合複素環化合物またはその塩、(11)において、Zが2、4ージオキソオキサゾリジンー5ーイルメチル基である縮合複素環化合物またはその塩、および(12) (1)に

おいて、Rが水素原子、メチル基またはメトキシ基である縮合複素環化合物またはその塩であり、特に好適な化合物は、(13) (1)において、Xが1ないし5個の下記置換分(a')を有していてもよいベンズイのを対しる直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルチル基、ボンジルオキシ基、ハロゲン原子、フェニルチオ基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鏡状のアルチオ基、ドリフルオロメチル基、ヒドロアルキルチオ基、トリフルオロメチル基、ヒドである、であり、Yが酸素原子であり、Zが2.4ージオキサゾリジンー5ーイルメチル基であり、Rが水でしるの整数である縮合複素環化合物またはその塩である。

【0033】更に好適な化合物としては、(14)

(1) において、Xが1ないし5個の下記置換分

(a'') を有していてもよいベンズイミダゾール環基: 置換分(a'') はメチル基、エチル基、イソプロピル基、メトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ベンジルオキシ基、フッ素原子、塩素原子、フェニルチオ基、メチルチオ基、エチルチオ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、である縮合複素環化合物またはその塩、(15)

(1)において、Rが水素原子である縮合複素環化合物またはその塩、および(16) (1)において、mが1または2である縮合複素環化合物またはその塩であり、特に好適な化合物は、(17) (1)において、Xが1ないし5個の下記置換分(a'')を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a'')はメチル基、エチル基、イソプロピル基、メトキシ基、エチル基、イソプロポキシ基、ベンジルオキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、ベンジルオキシ基、フッ素原子、塩素原子、フェニルチオ基、メチルチオ基、エチルチオ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基、ベンジル基またはフェニル基である、であり、Yが酸素原子であり、Zが2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメチル基であり、Rが水素原子であり、mが1または2である縮合複素環化合物またはその塩である。

【〇〇34】更に好適な化合物としては、(18)

(1) において、Xが1ないし5個の下記置換分

(a''') を有していてもよいベンズイミダゾール環基:置換分(a''') はメチル基、メトキシ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基またはベンジル基である、である縮合複素環化合物またはその塩、および(19)

(1) において、mが1である縮合複素環化合物またはその塩であり、特に好適な化合物は、(20) (1) において、Xが1ないし5個の下記置換分(a''') を有していてもよいベンズイミダゾール環基: 置換分(a''') はメモル其、メトキシ其、ヒドロキシ其、ア

(a''') はメチル基、メトキシ基、ヒドロキシ基、アセトキシ基またはペンジル基である、であり、Yが酸素

原子であり、Zが2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメチル基であり、Rが水素原子であり、mが1である縮合複素環化合物またはその塩である。

【0035】最も好適な化合物としては、(21) - [4-(1-メチルベンズイミダゾールー2ーイルメ トキシ) ベンジル] チアゾリジンー2、4ージオンまた はその塩、(22) 5- [4-(6-メトキシ-1-メチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ) ベンジ ル] チアゾリジン-2, 4-ジオンまたはその塩、(2) 3) 5-[4-(5-メトキシー1-メチルベンズイ ミダゾールー2ーイルメトキシ) ペンジル] チアゾリジ ン-2. 4-ジオンまたはその塩、(24) - (1-ベンジルベンズイミダゾール-5-イルメトキ シ) ベンジル] チアゾリジン-2、4-ジオンまたはそ の塩、(25) 5-[4-(5-ヒドロキシ-1, 4. 6. フーテトラメチルベンズイミダゾールー2ーイ ルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー2、4ージオン またはその塩、および(26) 5- [4-(5-アセ トキシー1、4、6、7ーテトラメチルペンズイミダゾ ールー2ーイルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー 2. 4 - ジオンまたはその塩である。

【0036】本発明の新規な「医薬」、「インスリン抵抗性に起因する疾病の予防薬および/または治療薬」、「高血糖症予防薬および/または治療薬」、「糖尿病合併症の予防薬および/または治療薬」、「動脈硬化症予防薬および/または治療薬」、「肥満症予防薬および/または治療薬」、「耐糖能不全予防薬および/または治療薬」、「耐糖能不全予防薬および/または治療薬」、

「高血圧症予防薬および/または治療薬」、「多嚢胞卵 巣症候群予防薬および/または治療薬」、「妊娠糖尿病 予防薬および/または治療薬」、「インスリン抵抗性非 耐糖能不全予防薬および/または治療薬」、「炎症性疾 患予防薬および/または治療薬」、「白内障予防薬およ び/または治療薬」は、上記(1)ないし(26)に記 載の縮合複素環化合物またはその塩を有効成分として含 有する。

【0037】ここに、Xがベンズイミダゾール環基を示す場合、該ベンズイミダゾール環基としては、例えば1ーベンズイミダゾリル、2ーベンズイミダゾリル、4ーベンズイミダゾリル、5ーベンズイミダゾリル、6ーベンズイミダゾリル、7ーベンズイミダゾリルなどをあげることができる。

【0038】R、置換分(a) および/または置換分(c) が同一もしくは異なって、炭素数 1 ないし 4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基を示す場合、該アルキル基としては例えば、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、sーブチル、tーブチルなどをあげることができる。好適にはメチル、エチルであり、最適にはメチルである。

【0039】R、置換分(a)および/または置換分

(c) が同一もしくは異なって、炭素数 1 ないし 4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基を示す場合、該アルコキシ基としては例えば、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、イソプロポキシ、ブトキシ、イソブトキシ、sーブトキシ、tーブトキシなどをあげることができる。好適にはメトキシ、エトキシ、プロポキシであり、最適にはメトキシである。

【0040】R、置換分(a)および/または置換分(c)が同一もしくは異なって、ハロゲン原子を示す場合、該ハロゲン原子としては臭素原子、塩素原子、フッ素原子などをあげることができる。好適には塩素原子、フッ素原子であり、最適にはフッ素原子である。

【0041】R、置換分(a) および/または置換分(b) が同一もしくは異なって、炭素数 7 ないし 1 1 個を有するアラルキル基を示す場合、該アラルキル基としては、アルキレン部分が炭素数 1 ないし 5 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキレンであり、例えば、ベンジル、2-フェニルエチル、1-フェニルエチル、3-フェニルプロピル、4-フェニルブロピル、1-フェニルブラール、5-フェニルペンチル、1-ナフチルメチル、2-ナフチルメチルなどをあげることができる。好適にはベンジルである。

【0042】R、置換分(a)および/または置換分(c)が同一もしくは異なって、置換分(b)を有していてもよいアミノ基を示す場合において、置換分(b)が

1) 炭素数1ないし8個を有する直鎖状もしくは分枝鎖 状のアルキル基を示す場合、該アルキル基としては例え ば、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチ ル、イソブチル、sーブチル、tーブチル、ペンチル、 2-ペンチル、3-ペンチル、2-メチルブチル、3-メチルブチル、1、1ージメチルプロピル、1、2ージ メチルプロピル、2.2ージメチルプロピル、ヘキシ ル、2-ヘキシル、3-ヘキシル、2-メチルペンチ ル、3-メチルペンチル、4-メチルペンチル、1,1 ージメチルブチル、1、2ージメチルブチル、1、3ー ジメチルブチル、2, 2ージメチルブチル、2, 3ージ メチルブチル、3、3ージメチルブチル、1、1、2ー トリメチルプロピル、1, 2, 2ートリメチルプロピ ル、ヘプチル、2ーヘプチル、3ーヘプチル、4ーヘプ チル、3,3ージメチルペンチル、オクチル、1ーメチ ルヘプチル、2ーエチルヘキシル、1, 1, 3, 3ーテ トラメチルブチルなどをあげることができる。好適には 炭素数1ないし6個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の アルキル基である。最適には炭素数1ないし4個を有す る直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基である。特に最 適にはメチル基、エチル基である。

【0043】2)炭素数7ないし11個を有する直鎖状

もしくは分枝鎖状のアラルキル基を示す場合、該アラルキル基としては上記置換分(a)で述べたアラルキル基と同じである。

【0044】3)炭素数6ないし10個を有するアリール基を示す場合、該アリール基としては、例えばフェニル、1ーナフチル、2ーナフチルなどをあげることができる。

【0045】4)炭素数1ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の脂肪族アシル基を示す場合、該脂肪族アシル基としては、例えばホルミル、アセチル、プロピオニル、ブチリル、イソブチリル、ピバロイル、ペンタノイル、ヘキサノイル、ヘプタノイル、オクタノイル、ブナノイル、デカノイル、ウンデカノイルなどをあげることができる。好適にはホルミル、アセチル、プロピオニル、ブチリル、イソブチリル、ピバロイル、ヘキサノイルである。

【0046】5)炭素数8ないし12個を有する芳香脂肪族アシル基を示す場合、該芳香脂肪族アシル基としては、例えばフェニルアセチル、3ーフェニルプロピオニル、4ーフェニルブチリル、5ーフェニルペンタノイル、6ーフェニルヘキサノイル、 $\alpha$ ーメチルフェニルアセチルなどをあげることができる。好適にはフェニルアセチルである。

【0047】6)炭素数7ないし11個を有する芳香族アシル基を示す場合、該芳香族アシル基としては、例えばベンゾイル、1ーナフトイル、2ーナフトイルなどをあげることができる。好適にはベンゾイルである。

【 O O 4 8 】従って、ここにR、置換分(a )および/ または置換分(c )が同一もしくは異なって、置換分

(b) を有していてもよいアミノ基を示す場合、該アミノ基としては例えば以下のような基をあげることができる。

【0049】1)メチルアミノ、エチルアミノ、プロピ ルアミノ、イソプロピルアミノ、ブチルアミノ、イソブ チルアミノ、sーブチルアミノ、tーブチルアミノ、ペ ンチルアミノ、2ーペンチルアミノ、3ーペンチルアミ ノ、2-メチルブチルアミノ、3-メチルブチルアミ ノ、1、1ージメチルプロピルアミノ、1、2ージメチ ルプロピルアミノ、2,2ージメチルプロピルアミノ、 ヘキシルアミノ、2-ヘキシルアミノ、3-ヘキシルア ミノ、2ーメチルペンチルアミノ、3ーメチルペンチル アミノ、4ーメチルペンチルアミノ、1、1ージメチル ブチルアミノ、1、2ージメチルブチルアミノ、1、3 ージメチルブチルアミノ、2,2ージメチルブチルアミ ノ、2、3ージメチルブチルアミノ、3、3ージメチル ブチルアミノ、1、1、2ートリメチルプロピルアミ ノ、1、2、2ートリメチルプロピルアミノ、ヘプチル アミノ、2-ヘプチルアミノ、3-ヘプチルアミノ、4 ーヘプチルアミノ、3、3ージメチルペンチルアミノ、 オクチルアミノ、1ーメチルヘプチルアミノ、2ーエチ

ルヘキシルアミノ、1, 1, 3, 3-テトラメチルブチルアミノのような水素原子とアルキルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0050】2)ベンジルアミノ、2ーフェニルエチルアミノ、1ーフェニルエチルアミノ、3ーフェニルプロピルアミノ、1ーフェニルプロピルアミノ、1ーフェニルプロピルアミノ、4ーフェニルブチルアミノ、1ーフェニルブチルアミノ、5ーフェニルペンチルアミノ、1ーナフチルメチルアミノ、2ーナフチルメチルアミノのような水素原子とアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0051】3)フェニルアミノ、1ーナフチルアミノ、2ーナフチルアミノのような水素原子とアリールとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0052】4)ホルミルアミノ、アセチルアミノ、プロピオニルアミノ、ブチリルアミノ、イソブチリルアミノ、イソブチリルアミノ、ピパロイルアミノ、ペンタノイルアミノ、ヘキサノイルアミノ、ヘプタノイルアミノ、オクタノイルアミノ、ブカノイルアミノ、ウンデカノイルアミノのような水素原子と脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0053】5)フェニルアセチルアミノ、3-フェニルプロピオニルアミノ、4-フェニルブチリルアミノ、 $5-フェニルペンタノイルアミノ、<math>6-フェニルへキサノイルアミノ、 \alpha-メチルフェニルアセチルアミノ、<math>\alpha$ 、 $\alpha-ジメチルフェニルアセチルアミノのような水素原子と芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。$ 

【0054】6)ベンゾイルアミノ、1ーナフトイルアミノ、2ーナフトイルアミノのような水素原子と芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0055】7)ジメチルアミノ、ジエチルアミノ、NーメチルーNーエチルアミノ、NーメチルーNーペンチルアミノのようなアルキルとアルキルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0056】8)N-エチル-N-ベンジルアミノ、N-t-ブチル-N-ベンジルアミノ、N-ヘキシル-N-ベンジルアミノのようなアルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0057】9)NーメチルーNーフェニルアミノ、NーエチルーNーフェニルアミノ、NーオクチルーNーフェニルアミノ、Dまるなアルキルとアリールとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0058】10)NープロピルーNーアセチルアミノ、NーペンチルーNープロピオニルアミノ、NーエチルーNーへキサノイルアミノのようなアルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0059】11)N-エチル-N-フェニルアセチルアミノ、N-イソプロピル-N-(2-フェニルプロピオニル)アミノ、N-メチル-N-(6-フェニルヘキサノイル)アミノのようなアルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0060】12) NーメチルーNーベンゾイルアミノ、NーsーブチルーNーベンゾイルアミノ、NーへプチルーNーベンゾイルアミノのようなアルキルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0061】13) ジベンジルアミノ、NーベンジルーNー(3ーフェニルプロピル) アミノ、NーベンジルーNー(2ーナフチルメチル) アミノのようなアラルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【 O O 6 2 】 1 4 ) N ーベンジルーN ーフェニルアミノ、N ー (3 ーフェニルプロピル) ーN ーフェニルアミノのようなアラルキルとアリールとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0063】15) NーベンジルーNーアセチルアミノ、NーベンジルーNープロピオニルアミノ、NーベンジルーNーペンタノイルアミノのようなアラルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0064】16)NーベンジルーNーフェニルアセチルアミノ、NーベンジルーNー(4ーフェニルブチリル)アミノのようなアラルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【 O O 6 5 】 1 7 ) N ーベンジルー N ーベンゾイルアミノ、N ー (2 ーフェニルエチル) ー N ーベンゾイルアミノのようなアラルキルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【 0 0 6 6 】 1 8 ) ジフェニルアミノ、Nー (1 ーナフチル)ーNーフェニルアミノ、Nー (2 ーナフチル)ーNーフェニルアミノのようなアリールとアリールとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0067】19)N-フェニル-N-アセチルアミ・ノ、N-フェニル-N-プロピオニルアミノ、N-フェニル-N-ヘキサノイルアミノのようなアリールと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0068】20)N-フェニル-N-フェニルアセチルアミノ、N-フェニルーN-(4-フェニルブチリル)アミノのようなアリールと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。 【0069】21)N-フェニル-N-ベンゾイルアミ

【0069】21) N-フェニル-N-ベンゾイルアミノ、N-フェニル-N-(2-ナフトイル) アミノのようなアリールと芳香族アシルとの組み合わせからなる置

換アミノ基をあげることができる。

【 0 0 7 0】 2 2) ジアセチルアミノ、Nーアセチルー Nープロピオニルアミノ、NーブチリルーNーへキサノイルアミノのような脂肪族アシルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。 【 0 0 7 1】 2 3) NーアセチルーNーフェニルアセチルアミノ、NーアセチルーNー (4ーフェニルブチリル)アミノ、NーブチリルーNーフェニルアセチルアミノのような脂肪族アシルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【 O O 7 2 】 2 4 ) N - アセチル - N - ベンゾイルアミノ、N - ブチリル - N - (2 - ナフトイル) アミノのような脂肪族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0073】25)N、Nージフェニルアセチルアミノ、NーフェニルアセチルーNー(2ーフェニルプロピオニル)アミノ、NーフェニルアセチルーNー(4ーフェニルブチリル)アミノのような芳香脂肪族アシルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0074】26)N-フェニルアセチル-N-ベンゾイルアミノ、N-フェニルアセチル-N-(2-ナフトイル)アミノのような芳香脂肪族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0075】27) ジベンゾイルアミノ、NーベンゾイルーNー(2ーナフトイル) アミノのような芳香族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノ基をあげることができる。

【0076】置換分(a)が、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキルチオ基を示す場合、該アルキルチオ基としては例えば、メチルチオ、エチルチオ、プロピルチオ、イソプロピルチオ、ブチルチオ、イソブチルチオ、sーブチルチオ、tーブチルチオなどをあげることができる。

【0077】置換分(a)が、置換分(c)を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基を示す場合、該アリール基としては、例えばフェニル、1ーナフチル、2ーナフチルなどをあげることができる。に置換分(c)が炭素数1ないし4個を有する直鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハリフルオロメチル基、置換分(b)を有していてもよいアミノ基である場合、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシ基、ハロゲン原子、置換分(b)を有していてもよいアミノ基については、既に前述した。

【0078】そこで置換分(a)が、置換分(c)を有

していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基を示す場合、該アリール基としては例えば以下のような基を挙げることができる。

【0079】1) 例えば、4-メチルフェニル、4-エチルフェニル、4ープロピルフェニル、4ーイソプロ ピルフェニル、4ーブチルフェニル、4ーイソブチルフ ェニル、4-s-ブチルフェニル、4-t-ブチルフェ ニル、4-メチル-1-ナフチル、5-エチル-1-ナ フチル、8-プロピルー1-ナフチル、4-イソプロピ ルー1ーナフチル、5ーブチルー1ーナフチル、4ーイ ソブチルー1ーナフチル、4-sーブチルー1ーナフチ ル、4-t-ブチル-1-ナフチル、4-メチル-2-ナフチル、5-エチル-2-ナフチル、8-プロピル-2ーナフチル、4ーイソプロピルー2ーナフチル、5ー ブチルー2ーナフチル、8ーイソブチルー2ーナフチ ル、4-s-ブチルー2-ナフチル、5-t-ブチルー 2ーナフチルのような炭素数1ないし4個を有する直鎖 状もしくは分枝鎖状のアルキルを有するアリール基: 2) 例えば、4-メトキシフェニル、4-エトキシフ ェニル、4ープロポキシフェニル、4ーイソプロポキシ フェニル、4ーブトキシフェニル、4ーイソブトキシフ ェニル、4-s-ブトキシフェニル、4-t-ブトキシ フェニル、4ーメトキシー1ーナフチル、5ーエトキシ -1-ナフチル、8-プロポキシ-1-ナフチル、4-イソプロポキシー1ーナフチル、5ーブトキシー1ーナ フチル、4ーイソブトキシー1ーナフチル、4ーsーブ トキシー1ーナフチル、4ーtーブトキシー1ーナフチ ル、4-メトキシー2-ナフチル、5-エトキシー2-ナフチル、8-プロポキシー2-ナフチル、4-イソプ ロポキシー2ーナフチル、5ーブトキシー2ーナフチ ル、8-イソブトキシー2-ナフチル、4-s-ブトキ シー2ーナフチル、5ーt-ブトキシー2-ナフチルの ような炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝 鎖状のアルコキシを有するアリール基:

3) 例えば、4-臭化フェニル、4-塩化フェニル、4-フッ化フェニル、4-沃化フェニル、3-塩化フェニル、3-塩化フェニル、3-ウッ化フェニル、3-臭化フェニル、3-沃化フェニル、4-臭化-1-ナフチル、4-ス化-1-ナフチル、5-塩化-1-ナフチル、5-臭化-1-ナフチル、4-フッ化-2-ナフチル、4-ウッ化-2-ナフチル、4-塩化-2-ナフチル、4-塩化-2-ナフチル、5-臭化-2-ナフチル、5-ウッ化-2-ナフチル、5-フッ化-2-ナフチル、5-フッ化-2-ナフチルのようなハロゲン原子を有するアリール基:

4) 例えば、2ーヒドロキシフェニル、3ーヒドロキシフェニル、4ーヒドロキシフェニル、4ーヒドロキシー1ーナフチル、8ーヒドロキシー1ーナフチル、8ーヒドロキシー1ーナフチル、4ーヒドロキシー2ーナフ

チル、5ーヒドロキシー2ーナフチル、8ーヒドロキシ ー2ーナフチルのようなヒドロキシを有するアリール 基:

- 5) 例えば、2ーニトロフェニル、3ーニトロフェニル、4ーニトロフェニル、4ーニトロー1ーナフチル、5ーニトロー1ーナフチル、8ーニトロー1ーナフチル、4ーニトロー2ーナフチル、5ーニトロー2ーナフチル、8ーニトロー2ーナフチルのようなニトロを有するアリール基;
- 6) 例えば、3-フェニルフェニル、4-フェニルフェニル、4-フェニルー1-ナフチル、5-フェニルー1-ナフチル、4-フェニルー2-ナフチル、5-フェニルー2-ナフチル、8-フェニルー2-ナフチルのようなフェニルを有するアリール基;
- 7) 例えば、3ートリフルオロメチルフェニル、4ートリフルオロメチルフェニル、4ートリフルオロメチルー1ーナフチル、5ートリフルオロメチルー1ーナフチル、8ートリフルオロメチルー1ーナフチル、5ートリフルオロメチルー2ーナフチル、5ートリフルオロメチルー2ーナフチルのようなトリフルオロメチルを有するアリール基:8) 例えば2ーアミノフェニル、3ーアミノフェニル、4ーアミノフェニル、4ーアミノー1ーナフチル、8ーアミノー2ーナフチルのような無置換アミノを有するアリール基:置換アミノを有するアリール基としては、
- i) 例えば3ーメチルアミノフェニル、4ーエチルアミノフェニル、3ープロピルアミノフェニル、3ーイソプロピルアミノフェニル、3ーイソブチルアミノフェニルのような水素原子とアルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:
- ii) 例えば4ーベンジルアミノフェニル、4ー(2ーフェニルエチルアミノ)フェニル、4ー(1ーフェニルエチルアミノ)フェニル、4ー(4ーフェニルブチルアミノ)フェニル、4ー(1ーナフチルメチルアミノ)フェニルのような水素原子とアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;
- i i i) 例えば4-フェニルアミノフェニル、4-(1-ナフチルアミノ) フェニルのような水素原子とアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

i v) 例えば4ーホルミルアミノフェニル、4ーアセチルアミノフェニル、4ーブチリルアミノフェニル、4ー ピパロイルアミノフェニル、4ーヘキサノイルアミノフェニル、4ーオクタノイルアミノフェニル、4ーウンデカノイルアミノフェニルのような水素原子と脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール; v) 例えば4ーフェニルアセチルアミノフェニル、4ー (4-7) (4ーフェニルブチリルアミノ) フェニル、4ー (6-7) フェニルへキサノイルアミノ) フェニル、4ー  $(\alpha-3)$  チルフェニルアセチルアミノ) フェニル、4ー  $(\alpha,\alpha-3)$  では、4ー  $(\alpha,\alpha-3)$  では、4ー (

vi) 例えば4ーペンゾイルアミノフェニル、4ー(1ーナフトイルアミノ) フェニル、4ー(2ーナフトイルアミノ) フェニルのような水素原子と芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

v i i) 例えば4ージメチルアミノフェニル、4ージエ チルアミノフェニル、4ー (NーメチルーNーエチルア ミノ) フェニルのようなアルキルとアルキルとの組み合 わせからなる置換アミノを有するアリール:

viii) 例えば4 - (N-エチル-N-ベンジルアミノ) フェニル、4 - (N-t-ブチル-N-ベンジルアミノ) フェニル、4 - (N-ヘキシル-N-ベンジルアミノ) フェニルのようなアルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

ix)例えば4-(N-メチル-N-フェニルアミノ)フェニル、4-(N-オクチル-N-フェニルアミノ)フェニルのようなアルキルとアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

x) 例えば4~(N-プロピル-N-アセチルアミノ) フェニル、4~(N-エチル-N-ヘキサノイルアミノ) フェニルのようなアルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

x i ) 例えば4 ~ (Nーエチル-Nーフェニルアセチルアミノ) フェニル、4 ~ [Nーメチル-N-(6-フェニルへキサノイル) アミノ] フェニルのようなアルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

x i i) 例えば4ー(NーメチルーNーベンゾイルアミノ) フェニル、4ー(NーヘプチルーNーベンゾイルアミノ) フェニルのようなアルキルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

x i i i) 例えば4ージベンジルアミノフェニル、4ー [NーベンジルーNー (2ーナフチルメチル) アミノ] フェニルのようなアラルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

xiv) 例えば4 - (N-ベンジル-N-フェニルアミノ) フェニル、4 - [N-(3-フェニルプロピル) - N-フェニルアミノ] フェニルのようなアラルキルとアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

x v) 例えば4 - (N-ベンジル-N-アセチルアミノ) フェニル、4 - (N-ベンジル-N-ペンタノイルアミノ) フェニルのようなアラルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

x v i ) 例えば4 - (N-ベンジル-N-フェニルアセチルアミノ) フェニル、4 - [N-ベンジル-N-(4-フェニルブチリル) アミノ] フェニルのようなアラルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

x v i i) 例えば4 - (N-ベンジル-N-ベンゾイル アミノ) フェニル、4 - [N-(2-フェニルエチル) -N-ベンゾイルアミノ] フェニルのようなアラルキル と芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有 するアリール:

x v i i i )例えば4 ー(ジフェニルアミノ)フェニル、4 ー [Nー(2ーナフチル)ーNーフェニルアミノ]フェニルのようなアリールとアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

x i x) 例えば4-(N-フェニル-N-アセチルアミノ) フェニル、4-(N-フェニル-N-ヘキサノイルアミノ) フェニルのようなアリールと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;

xx)例えば4-(N-フェニル-N-フェニルアセチルアミノ)フェニル、4-[N-フェニル-N-(4-フェニルブチリル)アミノ]フェニルのようなアリールと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

x x i ) 例えば4 - (N-フェニル-N-ベンゾイルアミノ) フェニルのようなアリールと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

××ii)例えば4ージアセチルアミノフェニル、4ー (NーブチリルーNーへキサノイルアミノ)フェニルの ような脂肪族アシルと脂肪族アシルとの組み合わせから なる置換アミノを有するアリール;

x x i i i )例えば4 - (N-アセチル-N-フェニル アセチルアミノ) フェニル、4 - (N-ブチリル-N-フェニルアセチルアミノ) フェニルのような脂肪族アシ ルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミ ノを有するアリール;

××iv) 例えば4ー(NーアセチルーNーベンゾイル アミノ)フェニル、4ー [NーブチリルーNー(2ーナ フトイル)アミノ] フェニルのような脂肪族アシルと芳 香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有する アリール;

×× v) 例えば4 — (N、Nージフェニルアセチルアミノ) フェニル、4 — [NーフェニルアセチルーNー (4 ーフェニルブチリル) アミノ] フェニルのような芳香脂肪族アシルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

××vi) 例えば4-(N-フェニルアセチル-N-ベンゾイルアミノ) フェニル、4-[N-フェニルアセチル-N-(2-ナフトイル) アミノ] フェニルのような 芳香脂肪族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール:

xxvii) 例えば4ージベンゾイルアミノフェニル、4ー[NーベンゾイルーNー(2ーナフトイル) アミノ] フェニルのような芳香族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアリール;を挙げることができる。

【〇〇8〇】置換分(a)が、置換分(c)を有してい てもよい炭素数7ないし11個を有するアラルキル基を 示す場合、該アラルキル基としては、アルキレン部分が 炭素数1ないし5個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の アルキレンであり、例えば、ベンジル、2-フェニルエ チル、1ーフェニルエチル、3ーフェニルプロピル、2 ーフェニルプロピル、1ーフェニルプロピル、4ーフェ ニルブチル、1ーフェニルブチル、5ーフェニルペンチ ル、1-ナフチルメチル、2-ナフチルメチルなどをあ げることができる。更に置換分(c)が炭素数1ないし 4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭 素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のア ルコキシ基、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、ニトロ基、 フェニル基、トリフルオロメチル基、置換分(b)を有 していてもよいアミノ基である場合、炭素数1ないし4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、炭素 数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアル コキシ基、ハロゲン原子、置換分(b)を有していても よいアミノ基については、既に前述した。

【0081】そこで置換分(a)が、置換分(c)を有していてもよい炭素数フないし11個を有するアラルキル基を示す場合、該アラルキル基としては例えば以下のような基を挙げることができる。

【0082】1) 例えば、4-メチルベンジル、4-エチルベンジル、4ープロピルベンジル、4ーイソプロ ピルベンジル、4ーブチルベンジル、4ーイソブチルベ ンジル、4-s-ブチルペンジル、4-t-ブチルペン ジル、4ーメチルー1ーナフチルメチル、5ーエチルー 1-ナフチルメチル、8-プロピル-1-ナフチルメチ ル、4-イソプロピル-1-ナフチルメチル、5-ブチ ルー1ーナフチルメチル、4ーイソブチルー1ーナフチ ルメチル、4-s-ブチル-1-ナフチルメチル、4t ーブチルー1ーナフチルメチル、4 ーメチルー2 ーナ **・フチルメチル、5ーエチルー2ーナフチルメチル、8ー** プロピルー2ーナフチルメチル、4ーイソプロピルー2 ーナフチルメチル、5ーブチルー2ーナフチルメチル、 8-イソブチルー2ーナフチルメチル、4-s-ブチル -2-ナフチルメチル、5-t-ブチル-2-ナフチル メチルのような炭素数1ないし4個を有する直鎖状もし くは分枝鎖状のアルキルを有するアラルキル基:

2) 例えば、4ーメトキシベンジル、4ーエトキシベンジル、4ープロポキシベンジル、4ーイソプロポキシベンジル、4ーイソブトキシベンジル、4ーェーブトキシベンジル、4ーェーブトキシベンジル、4ーメトキシー1ーナフチルメチル、5ーエ

トキシー1ーナフチルメチル、8ープロポキシー1ーナフチルメチル、4ーイソプロポキシー1ーナフチルメチル、5ーブトキシー1ーナフチルメチル、4ーイソブトキシー1ーナフチルメチル、4ーよりカー2ーナフチルメチル、5ーエトキシー2ーナフチルメチル、5ーエトキシー2ーナフチルメチル、5ーナフチルメチル、4ーイソプロポキシー2ーナフチルメチル、5ーナフチルメチル、4ーsーブトキシー2ーナフチルメチル、5ーナフチルメチル、5ーナフチルメチルのような炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルコキシを有するアラルキル基;

- 3) 例えば、4-臭化ベンジル、4-塩化ベンジル、4-フッ化ベンジル、4-沃化ベンジル、3-塩化ベンジル、3-塩化ベンジル、3-フッ化ベンジル、3-臭化ベンジル、3-法化ベンジル、4-臭化ー1ーナフチルメチル、4-塩化ー1ーナフチルメチル、5-塩化ー1ーナフチルメチル、5-塩化ー1ーナフチルメチル、5-臭化ー1ーナフチルメチル、8-塩化ー1ーナフチルメチル、4-フッ化ー2ーナフチルメチル、4-臭化ー2ーナフチルメチル、4-塩化ー2ーナフチルメチル、4-塩化ー2ーナフチルメチル、4-塩化ー2ーナフチルメチル、4-塩化ー2ーナフチルメチル、5-塩化ー2ーナフチルメチル、5-塩化ー2ーナフチルメチル、5-塩化ー2ーナフチルメチル、5-法化ー2ーナフチルメチルのようなハロゲン原子を有するアラルキル基;
- 4) 例えば、2ーヒドロキシベンジル、3ーヒドロキシベンジル、4ーヒドロキシベンジル、4ーヒドロキシ ー1ーナフチルメチル、5ーヒドロキシー1ーナフチルメチル、8ーヒドロキシー1ーナフチルメチル、4ーヒドロキシー2ーナフチルメチル、5ーヒドロキシー2ーナフチルメチルのようなヒドロキシを有するアラルキル基:
- 5) 例えば、2ーニトロベンジル、3ーニトロベンジル、4ーニトロベンジル、4ーニトロー1ーナフチルメチル、5ーニトロー1ーナフチルメチル、8ーニトロー1ーナフチルメチル、4ーニトロー2ーナフチルメチル、5ーニトロー2ーナフチルメチルのようなニトロを有するアラルキル基:
- 6) 例えば、3-フェニルベンジル、4-フェニルベンジル、4-フェニル-1-ナフチルメチル、5-フェニル-1-ナフチルメチル、8-フェニル-1-ナフチルメチル、4-フェニル-2-ナフェニル-2-ナフチルメチルのようなフェニルを有するアラルキル基;
   7) 例えば、3-トリフルオロメチルベンジル、4-
- 7) 例えば、3ートリフルオロメチルベンジル、4ートリフルオロメチルベンジル、4ートリフルオロメチルー1ーナフチルメチル、5ートリフルオロメチルー1ー

ナフチルメチル、8ートリフルオロメチルー1ーナフチルメチル、4ートリフルオロメチルー2ーナフチルメチル、5ートリフルオロメチルー2ーナフチルメチル、8ートリフルオロメチルー2ーナフチルメチルのようなトリフルオロメチルを有するアラルキル基;

- 8) 例えば2ーアミノベンジル、3ーアミノベンジル、4ーアミノベンジル、4ーアミノー1ーナフチルメチル、8ーアミノー2ーナフチルメチルのような無置換アミノを有するアラルキル基としては、
- i) 例えば3-メチルアミノベンジル、4-エチルアミノベンジル、3-プロピルアミノベンジル、3-イソプロピルアミノベンジル、3-イソブラルアミノベンジル、3-イソブチルアミノベンジルのような水素原子とアルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- ii) 例えば4ーベンジルアミノベンジル、4ー(2ーフェニルエチルアミノ) ベンジル、4ー(1ーフェニルエチルアミノ) ベンジル、4ー(4ーフェニルブチルアミノ) ベンジル、4ー(1ーナフチルメチルアミノ) ベンジルのような水素原子とアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- i i i )例えば4ーフェニルアミノベンジル、4ー(1ーナフチルアミノ)ベンジルのような水素原子とアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- i v) 例えば4ーホルミルアミノベンジル、4ーアセチルアミノベンジル、4ーブチリルアミノベンジル、4ー ピパロイルアミノベンジル、4ーへキサノイルアミノベンジル、4ーカクタノイルアミノベンジル、4ーウンデカノイルアミノベンジルのような水素原子と脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- v) 例えば 4-7ェニルアセチルアミノベンジル、4- (4-7ェニルブチリルアミノ) ベンジル、4- (6-7 フェニルヘキサノイルアミノ) ベンジル、4- ( $\alpha-$ メチルフェニルアセチルアミノ) ベンジル、4- ( $\alpha$ ,  $\alpha-$ ジメチルフェニルアセチルアミノ) ベンジルのような水素原子と芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- vi) 例えば4ーベンゾイルアミノベンジル、4ー(1ーナフトイルアミノ) ベンジル、4ー(2ーナフトイルアミノ) ベンジルのような水素原子と芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- vii) 例えば4ージメチルアミノベンジル、4ージエチルアミノペンジル、4ー(NーメチルーNーエチルアミノ) ベンジルのようなアルキルとアルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- viii) 例えば4-(N-エチル-N-ベンジルアミノ) ベンジル、4-(N-t-ブチル-N-ベンジルア

ミノ) ベンジル、4-(N-ヘキシル-N-ベンジルアミノ) ベンジルのようなアルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:

- i x) 例えば4ー(NーメチルーNーフェニルアミノ) ベンジル、4ー(NーオクチルーNーフェニルアミノ) ベンジルのようなアルキルとアリールとの組み合わせか らなる置換アミノを有するアラルキル;
- x) 例えば4-(N-プロピル-N-アセチルアミノ) ベンジル、4-(N-エチル-N-ヘキサノイルアミノ) ベンジルのようなアルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- x i) 例えば4 (N-エチル-N-フェニルアセチルアミノ) ベンジル、4 [N-メチル-N-(6-フェニルヘキサノイル) アミノ] ベンジルのようなアルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- x i i) 例えば4 (N-メチル-N-ベンゾイルアミノ) ベンジル、4 (N-ヘプチル-N-ベンゾイルアミノ) ベンジルのようなアルキルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- x i i i) 例えば4ージベンジルアミノベンジル、4ー [NーベンジルーNー (2ーナフチルメチル) アミノ] ベンジルのようなアラルキルとアラルキルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- xiv) 例えば4-(N-ベンジル-N-フェニルアミノ) ベンジル、4-[N-(3-フェニルプロピル)-N-フェニルアミノ] ベンジルのようなアラルキルとアリールとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- x v ) 例えば4ー(NーベンジルーNーアセチルアミノ)ベンジル、4ー(NーベンジルーNーペンタノイルアミノ)ベンジルのようなアラルキルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル; x v i ) 例えば4ー(NーベンジルーNーフェニルアセチルアミノ)ベンジル、4ー [NーベンジルーNー(4ーフェニルブチリル)アミノ] ベンジルのようなアラルキルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;
- x v i i) 例えば4ー(NーペンジルーNーペンゾイルアミノ) ベンジル、4ー[Nー(2ーフェニルエチル)ーNーペンゾイルアミノ] ベンジルのようなアラルキルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:
- x v i i i )例えば4ージフェニルアミノベンジル、4 ー [Nー(2ーナフチル)ーNーフェニルアミノ] ベン ジルのようなアリールとアリールとの組み合わせからな る置換アミノを有するアラルキル;
- xix)例えば4-(N-フェニル-N-アセチルアミノ)ベンジル、4-(N-フェニル-N-ヘキサノイルアミノ)ベンジルのようなアリールと脂肪族アシルとの

組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル: xx) 例えば4-(N-フェニルーN-フェニルアセチルアミノ) ベンジル、4-[N-フェニルーN-(4-フェニルブチリル) アミノ] ベンジルのようなアリールと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:

x x i ) 例えば4 - (N-フェニル-N-ベンゾイルア ミノ) ベンジルのようなアリールと芳香族アシルとの組 み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;

x x i i) 例えば4ージアセチルアミノベンジル、4ー (NーブチリルーNーへキサノイルアミノ) ベンジルのような脂肪族アシルと脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル:

x x i i i i ) 例えば4 - (N-アセチル-N-フェニル アセチルアミノ) ベンジル、4 - (N-ブチリル-N-フェニルアセチルアミノ) ベンジルのような脂肪族アシ ルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる置換アミ ノを有するアラルキル:

x x i v) 例えば4-(N-アセチル-N-ベンゾイル アミノ) ベンジル、4-[N-ブチリル-N-(2-ナ フトイル) アミノ] ベンジルのような脂肪族アシルと芳 香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有する アラルキル:

xxv) 例えば4-(N、N-ジフェニルアセチルアミノ) ベンジル、4-[N-フェニルアセチル-N-(4-フェニルブチリル) アミノ] ベンジルのような芳香脂肪族アシルと芳香脂肪族アシルとの組み合わせからなる 置換アミノを有するアラルキル;

xxvi) 例えば4-(N-フェニルアセチル-N-ベンゾイルアミノ) ベンジル、4-[N-フェニルアセチル-N-(2-ナフトイル) アミノ] ベンジルのような 芳香脂肪族アシルと芳香族アシルとの組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;

xxvii) 例えば4-ジベンゾイルアミノベンジル、 4-[N-ベンゾイル-N-(2-ナフトイル) アミ ノ] ベンジルのような芳香族アシルと芳香族アシルとの 組み合わせからなる置換アミノを有するアラルキル;を 挙げることができる。

【0083】ここに、Xが示すベンズイミダゾール環基の1位および/または2位に置換分(a)が存在する場合、該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分

(c)を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基または置換分(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。

【 O O 8 4 】従って、X が 1 ないし 5 個の置換分 (a) を有するベンズイミダゾール環基としては、例えば、1 ーメチルベンズイミダゾールー2ーイル、1ープロピルベンズイミ

ダゾールー2ーイル、1ーイソプロピルベンズイミダゾ ールー2ーイル、1-ブチルベンズイミダゾール-2-イル、6-メトキシー1H-ベンズイミダゾールー2-イル、5ーメトキシー1Hーベンズイミダゾールー2ー イル、6-メトキシー1-メチルベンズイミダゾールー 2ーイル、5ーメトキシー1ーメチルベンズイミダゾー ルー2ーイル、1ーエチルー6ーメトキシベンズイミダ ゾールー2ーイル、1ーエチルー5ーメトキシベンズイ ミダゾールー2ーイル、6-メトキシー1ープロピルベ ンズイミダゾールー2ーイル、5ーメトキシー1ープロ ピルベンズイミダゾールー2ーイル、1ーイソプロピル ー6ーメトキシベンズイミダゾールー2ーイル、1ーイ ソプロピルー5ーメトキシベンズイミダゾールー2ーイ ル、1ーイソブチルー6ーメトキシベンズイミダゾール -2ーイル、1ーイソブチルー5ーメトキシペンズイミ。 ダゾールー2ーイル、6-エトキシー1-メチルベンズ イミダゾールー2ーイル、5ーエトキシー1ーメチルベ ンズイミダゾールー2ーイル、1-メチルー6-プロポ キシベンズイミダゾールー2ーイル、1ーメチルー5ー プロポキシベンズイミダゾールー2ーイル、6ーイソプ ロポキシー1ーメチルベンズイミダゾールー2ーイル、 5-イソプロポキシー1-メチルベンズイミダゾールー 2-イル、6-ブトキシー1-メチルベンズイミダゾー ルー2ーイル、5ーブトキシー1ーメチルベンズイミダ ゾールー2ーイル、6ーイソブトキシー1ーメチルベン ズイミダゾールー2ーイル、5ーイソブトキシー1ーメ チルベンズイミダゾールー2-イル、6-s-ブトキシ -1-メチルベンズイミダゾール-2-イル、5-s-ブトキシー1ーメチルベンズイミダゾールー2ーイル、 6-t-ブトキシー1-メチルベンズイミダゾールー2 ーイル、5-t-ブトキシ-1-メチルペンズイミダゾ ールー2ーイル、6ーブトキシー1ープロピルベンズイ ミダゾール-2-イル、5-ブトキシ-1-プロピルベ ンズイミダゾールー2ーイル、6ーペンジルオキシー1 ーメチルペンズイミダゾールー2ーイル、5ーベンジル オキシー1ーメチルペンズイミダゾールー2ーイル、5 ーメトキシー1, 6ージメチルベンズイミダゾールー2 ーイル、6ーメトキシー1、5ージメチルベンズイミダ ゾールー2ーイル、6ーブロムー5ーメトキシー1ーメ チルベンズイミダゾールー2ーイル、5ーブロムー6ー メトキシー1ーメチルペンズイミダゾールー2ーイル、 5-エトキシー6-フルオロー1-メチルベンズイミダ ゾールー2ーイル、6ーエトキシー5ーフルオロー1ー メチルベンズイミダゾールー2ーイル、5,7ージフル オロー1ーメチルペンズイミダゾールー2ーイル、4、 6-ジフルオロー1-メチルペンズイミダゾールー2-イル、6-フルオロー1-メチルペンズイミダゾールー 2-イル、5-フルオロー1-メチルベンズイミダゾー ルー2ーイル、5ークロロー1、6ージメチルペンズイ ミダゾールー2ーイル、6ークロロー1、5ージメチル

ペンズイミダゾールー2ーイル、5ークロロー1、6ー ジェチルベンズイミダゾールー2ーイル、6ークロロー 1. 5-ジェチルベンズイミダゾールー2ーイル、5-エチルー1ーメチルベンズイミダゾールー2ーイル、6 -エチル-1-メチルペンズイミダゾール-2-イル、 5-ブロモー1-メチルベンズイミダゾールー2ーイ ル、6-ブロモー1-メチルベンズイミダゾールー2-イル、7ーブロモー1ーメチルー5ートリフルオロメチ ルベンズイミダゾールー2ーイル、4ーブロモー1ーメ チルー6ートリフルオロメチルベンズイミダゾールー2 ーイル、7ークロロー1ーメチルー5ートリフルオロメ チルベンズイミダゾールー2ーイル、4ークロロー1ー メチルー6ートリフルオロメチルベンズイミダゾールー 2-イル、1-メチルーフートリフルオロメチルペンズ イミダゾールー2ーイル、1ーメチルー4ートリフルオ ロメチルベンズイミダゾールー2ーイル、1ーメチルー 5-トリフルオロメチルベンズイミダゾール-2-イ ル、1ーメチルー6ートリフルオロメチルベンズイミダ ゾールー2ーイル、5ーブロモー1, 6, 7ートリメチ ルベンズイミダゾールー2-イル、6-ブロモー1, 4. 5-トリメチルベンズイミダゾールー2-イル、5 ーフルオロー6ークロロー1ーメチルペンズイミダゾー ルー2ーイル、6ーフルオロー5ークロロー1ーメチル ベンズイミダゾールー2ーイル、5ーブロモー1,7ー ジメチルベンズイミダゾールー2ーイル、6ーブロモー 1. 4ージメチルベンズイミダゾールー2ーイル、6ー t ーブチルー1ーメチルベンズイミダゾールー2ーイ ル、5-t-ブチルー1-メチルペンズイミダゾールー 2-イル、6-ヒドロキシー1-メチルベンズイミダゾ ールー2ーイル、5ーヒドロキシー1ーメチルペンズイ ミダゾールー2ーイル、1、7ージメチルベンズイミダ ゾールー2ーイル、1,4ージメチルベンズイミダゾー ルー2ーイル、6、7ージクロロー1ーメチルベンズイ ミダゾールー2ーイル、4、5ージクロロー1ーメチル ベンズイミダゾールー2ーイル、5,6,7ートリフル オロー1ーメチルベンズイミダゾールー2ーイル、4. 5, 6-トリフルオロー1-メチルベンズイミダゾール -2-イル、5-ブロモー6-ベンジルオキシー1-メ チルベンズイミダゾールー2ーイル、6ーブロモー5ー ベンジルオキシー1ーメチルベンズイミダゾールー2ー イル、フークロロー1ーメチルベンズイミダゾールー2 ーイル、4ークロロー1ーメチルベンズイミダゾールー 2-イル、6-ヒドロキシー1、5、7-トリメチルベ ンズイミダゾールー2ーイル、5ーヒドロキシー1. 4. 6-トリメチルペンズイミダゾールー2-イル、1 ーメチルペンズイミダゾールー6ーイル、1ーエチルベ ンズイミダゾールー6-イル、1-プロピルベンズイミ ダゾールー6ーイル、1ーイソプロピルペンズイミダゾ ールー6ーイル、1ーブチルベンズイミダゾールー6ー イル、1ーベンジルベンズイミダゾールー6ーイル、1

ーメチルベンズイミダゾールーフーイル、1ーエチルベンズイミダゾールーフーイル、1ーベンジルベンズイミダゾールー 4ーイル、1ーメチルベンズイミダゾールー 5ーイル、1、2ージメチルベンズイミダゾールー6ーイル、5ーヒドロキシー1、4、6、フーテトラメチルベンズイミダゾールー2ーイル、1ーエチルー5ーヒドロキシー4、6、フートリメチルベンズイミダゾールー2ーイル、1ーベンジルベンズイミダゾールー5ーイル、5ーアセトキシー1、4、6、フーテトラメチルベンズイミダゾールー2ーイル、のようなベンズイミダゾール環基、を挙げることができる。

【0085】本発明の前記一般式(1)を有する化合物は、常法に従って塩にすることができる。そのような塩として例えば、フッ化水素酸、塩酸、臭化水素酸、沃化水素酸のようなハロゲン化水素酸の塩;硝酸塩、過塩素酸塩、硫酸塩、燐酸塩等の無機酸塩またはメタンスルホン酸、トリフルオロメタンスルホン酸のような低級アルカンスルホン酸の塩;ベンゼンスルホン酸のような低級アルカンスルホン酸のようなアリールスルホン酸の塩;グルタミン酸、アスパラギン酸のようなアミノ酸の塩;酢酸、フマール酸、酒石酸、蓚酸、マンデル酸、りんご酸、コハク酸、安息香酸、マンデル酸、スコルビン酸、乳酸、グルコン酸、クエン酸のようなカルボン酸の塩;等の有機酸塩を挙げることができる。好適には薬理上許容しうる塩である。

【0086】更に、前記一般式(1)を有する化合物は、常法に従って金属塩にすることができる。そのような塩としては例えばリチウム、ナトリウム、カリウムのようなアルカリ金属の塩;カルシウム、バリウム、マグネシウムのようなアルカリ土類金属の塩;アルミニウム塩;等の無機塩を挙げることができる。好適には薬理上許容しうる塩である。

【OO87】なお、前記一般式(1)を有する化合物は、種々の異性体を有する。

【0088】即ち、乙が2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイルメチルまたは2、4ージオキソオキサゾリジンー5ーイルメチル基を示す場合、該チアゾリジン環の5位およびオキサゾリジン環の5位は不斉炭素原子である。前記一般式(1)においては、これら不斉炭素原子に基づく立体異性体およびこれら異性体の等量および非等量混合物がすべて単一の式で示されている。従って、本発明においてはこれらの異性体およびこれらの異性体の混合物をもすべて含むものである。

【0089】更に、前記一般式(1)を有する化合物において、Zが2、4ージオキソチアソリジンー5ーイルメチル、2、4ージオキソオキサゾリジンー5ーイルメチル、2、4ージオキソチアゾリジンー5ーイリデニルメチル、3、5ージオキソオキサジアソリジンー2ーイルメチルを示す場合、種々の互変異性体の存在が考えら

れる。例えば次に示す通りである。

[0091]

【化7】

[0093]

【0094】前記一般式(1)においては、これらに基づく互変異性体およびこれらの異性体の等量および非等量混合物がすべて単一の式で示されている。従って、本発明においてはこれらの異性体およびこれらの異性体の混合物をもすべて含むものである。

【0095】更に本発明において、前記一般式(1)を 有する化合物またはその塩が溶剤和物(例えば水和物) を形成する場合には、これらもすべて含むものである。

【0096】更に本発明において、生体内において代謝されて前記一般式(1)を有する化合物またはその塩に変換される化合物、いわゆるプロドラッグもすべて含むものである。

【0097】本発明の前記一般式(1)を有する化合物

の具体例としては、例えば下記の表に記載する化合物を あげることができる。

【0098】表 1

[0099]

【化9】

[0100]

【表1】

例示化合物 番 号	X	Υ	m	R
1-1	() N →	0	1	н
1-2	() N <sub>N</sub> →	0	2	н
1-3	NH N	. 0	3	н
1-4	WN →	0	4	н
1-5	CVN N H	0	5	MeO
1-6	· CIN	s	1	н
1-7	N H	0	1	MeO
1-8	₩ N N	0	. 1	C1
1-9	H N N	o	1	Ме

[0101]

【表2】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-10	NN H	s	1	MeO
1-11	N N-Me	0	1	Н
1-12	N N Me	0	2	н
1-13	N N Me	0	3	H
1-14	N N Me	0	4	н
1-15	N N Me	0	5	н
1-16	N N Me	s	1	Н
1-17	N N Me	s	2	Н
1-18	N N Me	0	1.	MeO

[0102]

例示化合物 香号	· x	Y	m	R
1-19	N Ne	0	1	EtO
1-20	N N Me	0	1	Cl
1-21	N N Me	0	1	F
1-22	N N Me	0	1	·Me
1-23	N N Me	0	1	iPr
1-24	, (IN) Ne	0	2	Et
1-25	N N Me	s	1	C1
1-26	N N Me	S	1	Me
1-27	Et	0	1	Н

[0103]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-28	N Et	0	2	н
1-29	()N Et	0	3	t Bu
1-30	N Et	0	1	Me
1-31	N <sub>N-Et</sub>	0	ı	MeO
1-32	CINN → Et	s	1	Н
1-33	, CNN Et	s	1	PrO
1-34	N N Et	s	1	Me
1-35	N Pr	0	1	Н
1-36	© N Pr	0	3	Н

【0104】 【表5】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-37	( )N Pr	0	1	F
1-38	N Pr	s	1	н
1-39	N i Pr	0	1	Н
1-40	i Pr	0	2	н
1-41	N i Pr	S	1	н
1-42	i Pr	s	5	CI
1-43	Bu Bu	0	1	Н
1-44	N Bu	0	4	Н
1-45	Eu Bu	s	1	н

[0105]

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
1-46	MeO NH	0	1	н
1-47	MeO N	0	3	Н
1-48	MeO NH	s	1	Н
1-49	MeO N N Me	0	1	Н
1-50	MeO N N Me	0	2	н
1-51	MeO NN Ne	0	3	Н
1-52	Me O N N Me	0	4	н
1-53	MeO N Me	0	5	н
1-54	MeO N Me	s	1	Н

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-55	MeO N N Me	S	2	Н
1-56	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Ме
1-57	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	MeO
1-58	MeO N Ne	0	1	F
1-59	MeO N N Me	0	1	<b>C</b> 1
1-60	MeO N Et	0	1	Н
1-61	MeO N Et	0	2	Н
1-62	MeO Kt	0	1	MeO
1-63	MeO NE t	S	1	Н

[0107]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-64	MeO NPr	0	1	Н
1-65	MeO NPr	S	1	Н
1-66	MeO N	0	l	н
1-67	MeO N N i Bu	0	1	н
1-68	MeO N i Bu	s	1	н
1-69	EtO N N Me	0	1	н
1-70	EtO N N Me	0	1	MeO
1-71	E tO NN Me	0	1	C1
1-72	E tO N N Me	0	2	н

【0108】 【表9】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-73	EtO N N Me	0	3	н
1-74	E t O N Me	S	1	н
1-75	EtO NMe	S	4	Et
1-76	Pro N N Me	0	1	н
1-77	Pro N N Me	s	1	н
1-78	iPro NN Me	0	1	H
1-79	i Pro N Me	0	3	н
1-80	BuO N N Me	0	1	Н
1-81	i BuO N Me	0	1	н

[0109]

例示化合物 番号	<b>x</b> .	Υ	m	R
1-82	sBuO N N Me	0	1	Н
1-83	t BuO N N Me	0	1	н
1-84	BuO NPr	0	1	H
1-85	BzO N N Me	0	1	н
1-86	MeO N N N Me	0	1	н
1-87	MeO N Br N Me	0	1	Н
1-88	E t O N N Me	0	1	Н
1-89	F N N F Me	0	1	Н
1-90	F N N Me	0	1	н

【0110】 【表11】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-91	C1 N Me Ne	0	1	н
1-92	C1 N Et Et	0	1	н
1-93	Et N N Me	0	1	Н
1-94	Br NNN Me	0	1	Н
1-95	CF <sub>3</sub> N Br Me	0	1	н .
1-96	CF <sub>3</sub> N C1 Me	0	1	Н
1-97	CF <sub>3</sub> Me	0	1	н
1-98	CF <sub>3</sub> N N Me	0	1	н
1-99	Br N Me Ne Me	0	1	Н

[0111]

例示化合物	х	Y		R
番号・	<b>A</b>	1	m	K
1-100	C1 NNN Ne	0	1	Н
1-101	Br N N Me Me	0	1	Н .
1-102	tBu N Ne	0	1	н
1-103	HO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
1-104	N Ne Me	0	1	н
1-105	, CI N CI Me	0	1	Н
1-106	F N N N Me	0	1	Н
1-107	Br N Me	.0	1	H
1-108	C1 Me	0	1	н

[0112]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-109	Me N HO N Me Me	0	1	н
1-110	Me N HO N Me Me	0	2	Н
1-111	Me No Me	0	3	н
1-112	Me N N N Me Me	s	1	н
1-113	Me Ne Me	0	1	Ме
1-114	Me N HO N Me Me	0	I	MeO.
1-115	Me N HO N Me Me	0	1	Cı
1-116	√N <sub>H</sub>	0	1	н
1-117	\(\times_N^N \rightarrow \)	s	1	Н

【0113】 【表14】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-118	N N Me	0	1	н
1-119	N N Me	0	2	н
1-120	N N Me	0	3	Н
1-121	N N Me	0	4	Н
1-122	N N Me	0	5	н
1-123	, N N Me	0	1	MeO
1-124	N N Me	0	1	Cl
1-125	N N Me	s	1	Н
1-126	N N Me	s	3	н

【0114】 【表15】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-127	N Et	0	1	н
1-128	N N Et	s	1	Н
1-129	N Pr	0	1	н
1-130	: N N Pr	0	1	Cl
1-131	i Pr	0	1	Н
1-132	i Pr	S	1	н
1-133	N Bu	0	1	Н
1-134	N N B <sub>R</sub>	0	1	н
1-135	N N Bg	0	3	н

[0115]

【表16】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-136	N N Bz	s	1	Н
1-137	N N Me	0	1	н
1-138	N-Et	0	1	Н
1-139	N N B <sub>Z</sub>	0	1	Н
1-140	N N BE	s	1	Н
1-141	, Cin	0	1	Н
1-142	N N Me	0	1	н
1-143	N N Me	0	1	н
1-144	N Me	0	1	Н

【0116】 【表17】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-145	N Me	s	1	н
1-146	Me Me N	0	1	н
1-147	MeO No	0	2	Н
1-148	Me MeO N	0	3	н
1-149	Me N N	0	4	н
1-150	Me N MeO N	0	5	н
1-151	Me O N	s	1	H
1-152	Me O N	S	2	Н
1-153	Me Ne	0	1	Ме

【0117】 【表18】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-154	Me O N	0	2	Me
1-155	Me Me N	0	1.	F
1-156	Me Me Me	0	1	Cı
1-157	Et N MeO	0	1	Н
1-158	MeO N	0	2	Н
1-159	Et N MeO N	0	1	MeO
1-160	MeO N	s	1	н
1-161	MeO N	0	1	н
1-162	Pr MeO N	s	1	н

【0118】 【表19】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-163	MeO N	0	1	Н
1-164	i Bu NeO N	0	1	н
1-165	i Bu N Me O	S	1	Н
1-166	E t O N	0	1	н
1-167	E t O N	0	1	MeO
1-168	Me EtO N	0	1	C1
1-169	Me EtO N	0	2	Н
1-170	Me N E t O	0	3	н
1-171	Me EtO N	s	1	Н

【0119】 【表20】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-172	EtO N	s	4	Et
1-173	Pro N	0	1	Н
1-174	Pro N	S	1	Н
1-175	iPro N	0	1	Н
1-176	i Pro N	0	3	Н
1-177	Me N BuO	0	1	Н
1-178	i BuO N	0	1	н
1-179	sBuO N	0	1	н
1-180	tBuO N	0	1	Н

【0120】 【表21】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-181	BuO N	0	1	н
1-182	B <sub>2</sub> O N	0	1	н
1-183	Me M	0	1	н
1-184	Me O N N N	0	1	Н
1-185	Eto N	٥	1	Н
1-186	F N N	0	1	н
1-187	Me P N	o	1	Н
1-188	C1 N N	0	1	н
1-189	C1 N N	0	1	н

【0121】 【表22】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-190	Et N	0	1	н
1-191	Br N	0	1	Н
1-192	CF <sub>3</sub> N N Br	0	1	Н
1-193	CF <sub>3</sub> Me	0	1	н
1-194	Me N CF3	0	1	Н
1-195	CF <sub>3</sub>	0	1	Н
1-196	Br N Me N Me N	0	1	н
1-197	F N N CI	0	1	н
1-198	Br N Ne Me	0	2	н

【0122】 【表23】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
1-199	t Bu N	0	1	н
1-200	HO N	0	1	н
1-201	Me N Me	0	1	H
1-202	Me C1 C1 N	0	1	н
1-203	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
1-204	Br N	0	1	Н
1-205	Me N C1	0	1	н
1-206	Me Me N N Me	0	1	н
1-207	Me Me HO N Me	0	2	Н

[0123]

【表24】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
1-208	Me Me HO N Me	0	3	н
1-209	Me HO N HO N	s	1 .	н
1-210	Me HO N Me	0	1	Me
1-211	Me N N N Me	0	1	MeO
1-212	Me HO N Me	0	1	CI
1-213	, Me N	0	1	·H
1-214	Me N	0	2	н
1-215	Me N	0.	3	н
1-216	Me N	0	4	н

【0124】 【表25】

例示化合物 番号	· x	Y	m	R
1-217	Me N	0	5	Н
1-218	Me N	0	1	MeO
1-219	Me N	0	1	CI
1-220	Me N	S	1	н
1-221	Me N	s	3	Н
1-222	Et N	0	. 1	Н
1-223	Et N N	S	1	н
1-224	Pr N	0	1	н
1-225	Pr N N	0	1	C1

[0125]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
1-226	i Pr	0	1	Н
1-227	iPr N	S	1	н
1-228	Bu N	0	1	н
1-229	B <sub>N</sub> N	0	1	н
1-230	B <sub>R</sub>	0	3	Н
1-231	B <sub>R</sub>	s	1	н
1-232	Me N	o .	1	н .
1-233		0	1	н
1-234	B <sub>E</sub> N	0	1	н

【0126】 【表27】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
1–235	A PART NEW YORK NEW Y	S	1	н
1-236	Me N Me	0	1	н.
1-237	Me Mc Mc N N Me N	0	1	н
1-238	Me Mc Mc N N N Mc	0	2	H
1-239	Me Me Me HO N	0	3	н
1-240	Me Me Me N HO N	0	4	н
1-241	Me Me Me N N N Me	S	1	н
1-242	Me Me Me	. 0	1	MeO

【0127】 【表28】

例示化合物 香号:	×	Y	m	Ř
1-243	Me Me Me N HO N Me	0	1	а
1-244	Me Me Mc N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	F
1-245	Me Me Me Me N HO Me	0	1	CF <sub>3</sub>
1-246	Me Me Me N HO Me	0	1	Et
1-247	Me Et N	0	1	н .
1-248	Me Br Me N HO Me	0	2	н
1–249	Me Fr Me N HO Me	0	1	MeO

[0128]

		【表29】		
例示化合物 香号	×	Y	m	R
1-250	Me Me Me N N N N Me	0	1	н

【0129】<u>表 2</u> 【0130】

【化10】

[0131] 【表30】

$$X \longrightarrow C H_2 \longrightarrow Y \longrightarrow S \longrightarrow N H$$

例示化合物 番号	х	Y	m	R
2-1	( ) H N →	0	1	Н
2-2	$\mathbb{Z}_{N}^{N}$	0	2	Н
2-3	( N <sub>N</sub> →	0	3	Н
2-4	N N N	0	4	н
2-5	N N H	0	5	MeO
2-6	( ) N →	S	1	н
2-7	© N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	MeO
2-8	$N_{\text{H}}$	0	I	CI
2-9	$N_{H}$	0	1	Me

【表31】

[0132]

例示化合物 番号	x	Y	m	R
2-10	N N H	s	1	MeO
2-11	N N Me	0	ı	н
2-12	N N Me	0	2	Н
2-13	N N Me	0	3	н
2-14	N N Me	0	4	н
2-15	N N Me	0	5	н
2-16	N N Me	S	1	Н
2-17	N N Me	s	2	Ĥ
2-18	N N Me	0	1	MeO

[0133]

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
2-19	N Me	0	1	EtO
2-20	N Me	0	1	Cı
2-21	N N Me	0	1	F
2-22	N Ne	0	1	Me
2-23	N N Me	0	1	iPr
2-24	N N Me	0	2	Et
2-25	N-Me	s	1	C1
2-26	N N Me	S	1	Me
2-27	N Et	0	1	Н

[0134]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
2-28	NN Et	0	2	н
2-29	N Et	0	3	t Bu
2-30	N Et	0	1	Me
2-31	N Et	·O	1	MeO
2-32	N Et	S	1	н
2-33	N Et	\$	1	PrO
2-34	N N Et	S	1	Me
2-35	N Pr	0	1	н
2-36	N Pr	0	3	н

【0135】 【表34】

例示化合物 番 号	<b>X</b>	Y	m	R
2-37	N Pr	0	1	F
2-38	N Pr	s	1	Н
2-39	$ \begin{array}{c}                                     $	0	1	Н
2-40	N i Pr	0	2	н
2-41	N i Pr	S	1	н
2-42	N i Pr	s	5	C1
2-43	N <sub>N-Bu</sub>	0	1	н
2-44	N Bu	0	4	н
2-45	N Bu	S	1 .	Н

【0136】 【表35】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
2-46	MeO N	0	1	Н
2-47	MeO N	0	3	Н
2-48	MeO NH	S	1	Н
2-49	MeO N Ne	0	1	н
2-50	MeO N Me	0	2	н
2-51	MeO N Ne	0	3	н
2-52	MeO N N Me	0	4	Н
2-53	MeO N N Me	0	5	Н
2-54	MeO N N Me	S	1	Н

【0137】 【表36】

例示化合物 番号	х .	Y	m	R
2-55	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	s	2	Н
2-56	MeO N Ne	0	1	Me
2-57	MeO NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	0	1	MeO
2-58	MeO Ne	0	1	F
2-59	MeO N N N Me	0	1	C1
2-60	MeO N Et	0	1	н
2-61	MeO N N Et	0	2	н
2-62	MeO N Et	0	.1	MeO
2-63	MeO NEt	s	1	Н

【0138】 【表37】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
2-64	MeO NPr	0	1	Н
2-65	MeO NPr	s	1	Н
2-66	MeO N i Pr	0	1	н
2-67	MeO NN I Bu	0	1	. Н
2-68	MeO NN i Bu	s	1	Н
2-69	E t O N N N Me	0	1	н
2-70	EtO N N Me	0	1	MeO
2-71	E t O N N Me	0	1	C1
2-72	E t O N N Me	0	2	Н

[0139]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-73	EtO N N Me	0	3	Н
2-74	E t O N N Me	Ø	1	Н
2-75	EtO N N Me	S	4	Et
2-76	Pro N N Me	O.	1	н
2-77	Pro NN Ne	Ø	1	н
2-78	i Pro N N Me	0	1	н
2-79	i PrO Ne	0	3	Н
2-80	BuO N N Me	0 -	1	н
2-81	i BuO N Me	0	1	н

【0140】 【表39】

例示化合物 番号	х .	Y	m	R
2-82	sBuO N N Me	0	1	н
2-83	t BuO Ne	0	1	н
2-84	BuO NPr	0	1	Н
2-85	BgO N Ne	0	1	н
2-86	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	O	1	Н
2-87	MeO N Br N Me	0	1	н
2-88	F TO N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
2-89	F N N N Me	0	1	н
2-90	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н

[0141] [表40]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-91	C1 N N N Me	0	1	н
2-92	C1 NN Et	0	1	Н
2-93	E t N Me	0	1	н
2-94	Br N N Me	0	1	н
2-95	CF <sub>3</sub>	0	1	н
2-96	CF <sub>3</sub> NNNNC1 Me	0	1	Н
2-97	CF <sub>3</sub> Me	0	1	н
2-98	CF <sub>3</sub> N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
2-99	Br N Me Ne	0	1	н

【0142】 【表41】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
2-100	F N N N N Me	0	1	Н
2-101	Br N N Me Me	0	1	н
2-102	t Bu N N Me	0	1	Н
2-103	HO N N Me	0	1	Н
2-104	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
2-105	C1 NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	0	1	Н
2-106	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
2-107	Br N BrO N Me	0	1	н
2-108	N N C1 Me	0	1	Н

【0143】 【表42】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-109	Me N HO N Me Me	0	1	н
2-110	Me N HO N Me Me	0	2	Н
2-111	Me N N N N N N Me Me	0	3	Н
2-112	Me NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	S	1	Н
2-113	Me NN NN Me Me	0	1	Me
2-114	Me N N N Me Me	0	1	MeO
2-115	Me N N N Me Me	0	1	C1
2-116	↓ N N N	0	1	н
2-117	↓ N N N	s	1	н

[0144] 【表43】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-118	N N Me	0	1	н
2-119	N N Me	0	2	Н
2-120	N N- Me	0	3	н
2-121	N N Me	0	4	н
2-122	N N Me	0	5	н
2-123	N N Me	0	1	MeO
2-124	N N Me	0	1	Cı
2-125	N N Me	S	1	н
2-126	N N Me	s	3	Н

【0145】 【表44】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-127	N N Et	0	1	Н
2-128	N N Et	S	1	Н
2-129	N Pr	0	1	н
2-130	N Pr	0	1	C1
2-131	N i Pr	0	1	Н
2-132	N i Pr	S	1	н
2-133	N N Bu	0	1	н
2-134	N N Bz	0	1	Н
2-135	N N BE	0	3	н

【0146】 【表45】

例示化合物 番号	х · .	Y	m	R
2-136	N N Bz	s	1	н
2-137	N N Me	0	1	н
2-138	N N Et	0	1	н
2-139	N N B	0	1	н
2-140	Z Z BZ	S	1	н
2-141		0	1	н
2-142	N N-e	0	1	Н
2-143	N N Me	0	1	Н
2-144	N Me	0	1	н

【0147】 【表46】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-145 :	N N Me	S	1	Н
2-146	Me O N	0	1	н
2-147	Me O N	0	2	н
Ž-148	Me ON N	0	3	н
2-149	Me O N	0	4	н
2-150	Me Ne Ne	0	5	Н
2-151	Me MeO MeO	s	1	н
2-152	Me N N	s	2	н
2-153	Me MeO N	0	1	Me

[0148]

例示化合物 番号	х .	Y	m	R
2-154	Me N N	0	2	Me
2-155	Me ON N	0	1	F
2-156	Me NeO N	0	1	Cı
2-157	MeO N	0	1	Н
2-158	MeO N	0	2	н
2-159	MeO N	0	1	MeO
2-160	MeO N	s	1	н
2-161	MeO N	0	1	Н
2-162	MeO N	s	1	н

【0149】 【表48】

	<del></del>			
例示化合物 番号	×	Y	m	R
2-163	I Pr MeO N	0	1	Н
2-164	i Bu NeO N	0	1	н
2-165	i Bu N MeO N	s	1	н
2-166	E t O N	0	1	Н
2-167	E t O N	0	1	MeO
2-168	EtO N	0	1	CI
2-169	E t O N	0	2	н
2-170	Me N EtO N	0	3	Н
2-171	Me N EtO	s	1	Н

[0150]

【表49】

例示化合物 番 号	х	Y	m.	R
2-172	EtO N	s	4	Et
2-173	Pro N	0	1	н
2-174	Pro N	s	1	н
2-175	i Pro N	0	1	н
2-176	i Pro	0	3	н
2-177	Me N BuO	0	1	Н
2-178	i BuO	0	1	н
2-179	s BuO N	0	1	н
2-180	t BuO N	0	1	н

【0151】 【表50】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-181	BuO N	0	1	Н
2-182	BgO N	0	1	н
2-183	Me O N N N	0	1	н
2-184	Me O N N N	0	1	н
2-185	Eto N	0	1	Н
2-186	$F \xrightarrow{N \atop N} N$	0	1	н
2-187	Me N N	0	1	н
2-188	Me C1 N Me	0	1	н
2-189	CI N N	0	1	Н

[0152]

【表51】

例示化合物				
香号	Х	Y,	m	R
2-190	Et N	0	1	н
2-191	Br N	0	1	н
2-192	CF <sub>3</sub> N Br	0	1	Н
2-193	CF3 N N N	0	1	н
2-194	Me N CF3	0	1	н
2-195	CF <sub>3</sub> Ne	0	1	н
2-196	Br N Me N	0	1	н
2-197	F N N	0	1	Н
2-198	Br N N Me Me	0	2	Н

【0153】 【表52】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
2-199	t Bu	0	1	н
2-200	HO N	0	1	н
2-201	Me N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-N-	0	1	Н
2-202	C1 C1 N	0	1	Н
2-203	F N N	0	1	н
2-204	Br N	0	1	Н
2-205	Me N C1	0	1	H
2-206	Me Mc HO N Me	0	1	Н
2-207	Me Me HO N Me	0	2	н

[0154]

【表53】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-208	Me Mc HO N	0	3	н
2-209	Me Me HO N	s	1	Н
2-210	Me Me HO N	0	1	Me
2-211	Me HO N Me	0	1	MeO
2-212	Me Me HO N	0	1	Cl
2-213	Me N	0	1	н
2-214	Me N	0	2	Н
2-215	Me N	0	3	Н
2-216	Me N	0	4	Н

【0155】 【表54】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-217	Me N	0	5	н
2-218	Me N	0	1	MeO
2-219	Me N	0	1	Cl
2-220	Me N	S	1	Н
2-221	Me N	S	3	Н
2-222	Et N	0	1	н
2-223	Et N N	S	1	н
2-224	Pr N	0	1	Н
2-225	Pr N	0	1	Cl

【0156】 【表55】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
2-226	i Pr N	0	1	Н
2-227	i Pr	s	1	н
2-228	Bu N	0	1	H
2-229	Bz N N	0	1	н
2-230	B <sub>E</sub> N	0	3	н
2-231	B <sub>E</sub> N	S	1	н
2-232	Me N N	0	1	н
2-233	Et N	0	1	Н
2-234	B <sub>Z</sub>	0	1	н

[0157]

	【表56】			
例示化合物 番 号	x	Y	m	R
2-235	Br N N	s	1	Ħ
2-236	Me N Me Me	0	1	H

【0158】<u>表 3</u> 【0159】 【化11】

[0160]

	【表57】			
例示化合物 备 号	х	Y	m	R
3-1	N H	0	1	н
3-2	ZNH ZNH	0	2	н
3-3		0	3	Н
3-4	N H	0	4	н
3-5	N N H	0	5	MeO
3-6	N N H	S	1	Н
3-7	N N N	0	1	MeO
3-8	H N H	0	1	C1
3-9	N H	0	1	Me

【0161】 【表58】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
3-10	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	S	1	MeO
3-11	N <sub>N</sub> -Me	0	1	н
3-12	N N-Me	0	2	н
3-13	N N-Me	0	3	Н
3-14	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	4	н
3-15	N N Me	0	5	Н
3-16	ZZ-Me	Ø	1	н
3-17	N N Me	S	2	Н
3-18	N Ne Me	0	1	MeO

【0162】 【表59】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
3-19	N N Me	0	1	EtO
3-20	N N Me	0	1	Cl
3-21	N N Me	0	1	F
3-22	N N Me	0	1	Me
3-23	N N Me	0	1	iPr
3-24	N N Me	0	2	Et
3-25	N N Me	S	1	Cl
. 3-26	N N Me	s	1	Me
3-27	( )N N Et	0	1	н

[0163]

【表60】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
3-28	N-Et	0	2	н
3-29	N <sub>N</sub> -t	0	3	t Bu
3-30	NN-Et	0	1	Me
3-31	N-Et	0	1	MeO
3-32	ZZZ-Et	ø	1	Н
3-33	N N P t	Ø	1	PrO
3-34	N N E t	S	1	Me
3-35	( N N Pr	0	1	н
3-36	N Pr	0	3	Н

[0164]

【表61】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-37	N Pr	0	1	F
3-38	N N Pr	S	1	Н
3-39	N i Pr	0	1	н
3-40	( i Pr	0	2	н
3-41	(NN) i Pr	S	1	Н
3-42	N i Pr	S	5	C1
3-43	N N Bu	0	1	н
3-44	N N Bu	0	4	н
3-45	N N Bu	s	i	Н

【0165】 【表62】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
3-46	MeO N N	0	1	н
3-47	MeO NN	0	3	н
3-48	MeO NH	S	1	н
3-49	MeO N Neo Me	0	1	н
3-50	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	2	Н
3-51	MeO N N N N Me	0	3	н
3-52	Me O N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	4	н
3-53	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	5	Н
3-54	Me O N N N N Me	s	1	Н

【0166】 【表63】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-55	MeO Ne	S	2	Н
3-56	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Me
3-57	MeO NNNN	0	1	MeO
3-58	MeO N N N Me	0	1	F
3-59	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	C1
3-60	MeO N	0	1	Н
3-61	MeO N E t	0	2	н
3-62	MeO N	0	1	MeO
3-63	MeO N	s	1	Н

[0167]

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-64	MeO NPr	0	1	Н
3-65	MeO NPr	S	1	н
3-66	MeO N i Pr	0	1	н
3-67	MeO N N I Bu	0	1	н
3-68	MeO N i Bu	s	1	Н
3-69	E t O N N Me	0	1	н
3-70	EtO N N Me	0	1	MeO
3-71	EtO N Me	0 -	1	C1
3-72	E t O N N Me	0	2	н

[0168]

例示化合物 著号	х	Y	m	R
3-73	E t O N N Me	0	3	н
3-74	E t O N N Me	S	. 1	н
3-75	E t O N N Me	S	4	Et
3-76	Pro N N Me	0	1	н
3-77	Pro NN Ne	Ø	1	н
3-78	iPrO N N Me	0	1	Н
3-79	i Pro N Me	0	3	н
3-80	BuO N N Me	0	1	Н
3-81	i BuO N N Me	0	1	н

[0169]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
3-82	s BuO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
3-83	t BuO Ne	0	1	Н
3-84	BuO NPr	0	1	Н
3-85	BZO N Ne	0	1	н
3-86	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
3-87	MeO N Br N Me	0	1	н
3-88	F N N N Me	0	1	н
3-89	F N N Me	0	1	н
3-90	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н

【0170】 【表67】

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-91	C1 N N N Me	0	1	Н
3-92	C1 N Et	0	1	н
3-93	E t N N N N N N N N N N N N N N N N N N	o	1	н
3-94	Br NNNMe	0	1	Н
3-95	CF <sub>3</sub> N Br Me	0	1	Н
3-96	CF <sub>3</sub> N N C1 Me	0	1	н
3-97	CF <sub>3</sub> Me	0	1	н
3-98	CF <sub>3</sub> N N Ne	0	1	н
3-99	Br N Me Ne Me	0	1	н

【0171】 【表68】

例示化合物 番 号	. x	Y	m	R
3-100	F N N N N Me	0	1	Н
3-101	Br N N Me Me	0	1	н
3-102	tBu N N Me	0	1	Н
3-103	HO N Ne	0	1	н
3-104	N Ne Me	0	1	н
3-105	CI NN C1 Me	0	1	Н
3-106	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
3-107	Br N BgO N Me	0	1	н
3-108	C1 Me	0	1	н

[0172]

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-109	Me N N N Me Me	0	1	Н
3-110	Me N N N Me Me	0	2	Н
3-111	Me N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	3	н
3-112	Me N N N Me Me	Ø	1	Н
3-113	Me N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Me
3-114	Me N HO N Me Me	0	1	MeO
3-115	Me N HO N Me Me	0	1	Cı
3-116	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
3-117	\(\text{N}\)  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N	s	1	Н

[0173]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-118	N N Me	0	1	Н
3-119	N N Me	0	2	H
3-120	N N Me	0	3	н
3-121	N N Me	0	4	н
3-122	N N- Me	0	5	н
3-123	N N- Me	0	1	MeO
3-124	N N N-Me	0	1	C1
3-125	N N Me	Ø	1	Н
3-126	N N N- Me	s	3	н

[0174]

【表71】

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-127	N N Et	0	1	н
3-128	N N Et	S	1	Н
3-129	N Pr	0	1	н
3-130	N Pr	0	1	<b>C</b> 1
3-131	N i Pr	0	1	н
3-132	N i Pr	Ø	1	Н
3-133	N <sub>N</sub> -Bu	0	1	н
3-134	N N Bz	0	1	Н
3-135	N N Bz	0	3	н

【表72】

[0175]

例示化合物 著号	х	Y	m	R
3-136	N N Bz	s	1	н
3-137	N N Me	0	1	Н
3-138	N Et	0	1	Н
3-139	$N$ $B_3$	0	1	н
3-140	N BE	Ø	1	н
3-141		0	1	Н
3-142	N N Me	0	1	н
3-143	N N Me	0	1	н
3-144	N N Me	0	1	н

【0176】 【表73】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-145	N Me	ø	1	Н
3-146	Me O N	0	1	н
3-147	Me N Me O	0	2	н
3-148	Me O N	0	3	н .
3-149	Me O N	0	4	Н
3-150	Me O N	0	5	Н
3-151	Me O N	S	1	Н
3-152	Me N N	S	2	н
3-153	Me O N N	0	1	Ме

[0177]

【表74】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
3-154	Me Me N	0	2	Me
3-155	Me O N	0	1	F
3-156	Me Ne	0	1	C1
3-157	MeO N	0	1	н .
3-158	MeO N	0	2	н
3-159	MeO N	0	1	MeO
3-160	MeO N	s	1	н
3-161	Pr NeO N	0	1	Н
3-162	MeO N	s	1	Н

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-163	i Pr N MeO N	0	1	Н
3-164	i Bu MeO N	0	1	Н
3-165	i Bu NeO N	s	1	н
3-166	EtO N	0	1	Н
3-167	EtO N	0	1	MeO
3-168	EtO N	0	1	Cl
3-169	Me N EtO N	0	2	н
3-170	Me N EtO N	0	3	н
3-171	Me N EtO N	s	1	н

【0179】 【表76】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
3-172	E t O N	s	4	Et
3-173	Pro N	0	1	н
3-174	Pro N	s	1	н
3-175	iPrO N	0	1	н
3-176	i Pro N	0	3	Н
3-177	Me N BuO	0	1	Н
3-178	i BuO N	O	1	н
3-179	Me NNN ⊗BuO NN	0	1	H
3-180	Me t BuO N	0	1	Н

[0180] [表77]

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
3-181	BuO N	0	1	Н
3-182	BEO N	0	1	Н
3-183	Me Me N	0	1	Н
3-184	MeO N N	0	1	Н
3-185	EtO N	o	. 1	н
3-186	F N	0	1	н
3-187	Me F	0	1	н
3-188	C1 N N	0.	1	Ħ
3-189	CI N N	0	1	н

[0181]

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
3-190	E t N	0	1	н
3-191	Br N	0	1	н
3-192	CF <sub>3</sub> N Br	0	1	н
3-193	CF <sub>3</sub> Me	0	1	Н-
3-194	Me N CF3	0	1	Н
3-195	CF <sub>3</sub> Ne	0	1	н
3-196	Br N Me N Me	0	1	н
3-197	F N N	0	1	н
3-198	Br N Me Me	0	2	н

【0182】 【表79】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-199	t Bu	0	1	н
3-200	HO N	0	1	н
3-201	Me N Me	o	1	н
3-202	C1 C1 N	0	1	н
3-203	F N N	0	1	н
3-204	Br N BrO	0	1	н
3-205	Me N C1	0	1	н
3-206	Me HO N N N	0	1	н
3-207	Me HO N HO N	0	2	н

【0183】 【表80】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
# 5				
3-208	Me Me HO N Me	0	3	Н
3-209	Me HO N Me	s	1	Н
3-210	Me Me HO N Me	0	1	Me
3-211	Me Me HO N	0	1	MeO
3-212	Me HO N N Me	0	1	C1
3-213	Me N	0	1	н
3-214	Me N	0	2	н
3-215	Me N	0	3	н
3-216	Me N	0	4	н

【0184】 【表81】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
3-217	Me N N	0	5	н
3-218	Me N N	0	1	MeO
3-219	Me N N	0	1	C1
3-220	Me N N	s	1	н
3-221	Me N N	s	3	н
3-222	Et N	0	1	н
3-223	Et N	s	1	н
3-224	Pr N	0	1	н
3-225	Pr N	0	1	C1

[0185]

【表82】

例示化合物 番 号	X	Y	m	R
3-226	i Pr	0	1	Н
3-227	i Pr N	s	1	Н
3-228	Bu N	0	1	Н
3-229	B <sub>E</sub>	o	1	н
3-230	B-Z-Z-N	0	3	Н
3-231	B-Z-N	s	1	н
3-232	Me N N	0	1	н
3-233	Et N	0	1	Н
3-234	B <sub>N</sub>	0	1	н

[0186]

	【表83】			
例示化合物 番 号	x	Y	m	R
3-235	B <sub>Z</sub> N	s	1	н
3-236	Me N N Me	0	1	н

【0187】<u>表 4</u> 【0188】 【化12】

[0189]

【表84】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-1	N	0	1	н
4-2	NH NH	0	2	н
4-3	NN H	0	3	н
4-4	ZZH ZZH	0	4	н
4-5	NH NH	0	5	MeO
4-6	N N H	Ø	1	н
4-7	N H	0	1	MeO
4-8	( ) N →	ο.	1	C1
4-9	ZZH ZZH	0	1	Ме

【0190】 【表85】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
4-10	N	Ø	1	MeO
4-11	N Ne Me	0	1	н
4-12	N N Me	0	2	н
4-13	N N Me	0	3	н
4-14	N N Me	0	4	н
4-15	N N- Me	0	5	н
4-16	N N Me	S	1	н
4-17	N N Me	s	2	н
4-18	N N Me	0	1	MeO

【0191】 【表86】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-19	N N Me	0	1	EtO
4-20	N N Me	0	1	Cı
4-21	N N Me	0	1	F .
4-22	N N Me	0	1	Ме
4-23	N N Ne	0	1	iPr
4-24	N N-Me	0	2	Et
4-25	N N N- Me	S	1	Cl
4-26	N N-Me	s	1	Me
4-27	N N Et	0	1	н

[0192]

【表87】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-28	N N-Et	0	2	н
4-29	N N-Et	0	3	t Bu
4-30	NN-Et	0	1	Me
4-31	N N E t	0	1	MeO
4-32		S	1	Н
4-33	N N-E t	s	1	PrO
4-34		Ø	1	Ме
4-35	N Pr	Ο.	1	Н
4-36	N N-Pr	0	3	Н

[0193]

【表88】

例示化合物番号	x	Y	m	R
4-37	( N Pr	0	1	F
4-38	N Pr	s	1	н
4-39	N i Pr	0	1	Н
4-40	$ \begin{array}{c}                                     $	0	2	н
4-41		S	1	Н
4-42	N i Pr	S	5	Cl
4-43	ZZ N-Bu	0	1	Н
4-44	N-Bu	0	4	Н
4-45	N Bu	s	1	Н

【0194】 【表89】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-46	MeO NH	0	1	н
4-47	MeO N H	0	3	н
4-48	MeO NH	s	1	Н
4-49	MeO N Ne	0	1	н
4-50	MeO N N N N Me	0	2	H
4-51	MeO N N Ne	Ò	3	н
4-52	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	4	Н
4-53	MeO N Ne	0	5	н
4-54	MeO N N Me	S	1	н

【0195】 【表90】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
4-55	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	s	2	н
4-56	MeO Ne	0	1	Me
4-57	MeO N Ne	0	1	MeO
4-58	MeO N N N Me	0	1	F
4-59	MeO NNNNN	0	1	C1
4-60	MeO N N Et	0	1	н
4-61	MeO N Et	0	2	н
4-62	MeO N Et	0	1	MeO
4-63	MeO N Et	s	1	Н

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-64	MeO N	0	1	Н
4-65	MeO NPr	s	1	Н.
4-66	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
4-67	MeO NN i Bu	0	1	н
4-68	MeO N-N-i Bu	s	1	н
4-69	E t O N N Me	0	1	н
4-70	EtO N N Me	0	1	MeO
4-71	EtO N N Me	0	1	C1
4-72	EtO NN Me	0	2	н

例示化合物 番号	х	Y	m	R
4-73	E tO NN Me	0	3	н
4-74	E tO N N Me	S	1	Н
4-75	E t O N N Me	S	4	Et
4-76	Pro N N Me	0	1	н
4-77	Pro N N Me	s	1	н
4-78	i PrO N Me	· 0	1	Н
4-79	i PrO N N Me	0	3	Н
4-80	BuO N N Me	0	1	Н
4-81	i BuO N N Me	0	1	Н

例示化合物 番 号	<b>x</b> .	Y	m	R
4-82	\$BuO N N Me	0	1	Н
4-83	t BuO Ne	0	1	Н
4-84	BuO NPr	0	1	Н
4-85	B <sub>Z</sub> O N Me	0	1	Н
4-86	Me O N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
4-87	MeO N Br N Me	0	1	н
4-88	F N N N Me	0	1	н
4-89	F N N N Me	0	1	н
4-90	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н

[0199]

			,	
例示化合物 番号	x	Y	m	R
4-91	C1 NNNNe	0	1	Н
4-92	$ \begin{array}{c} C1 \\ Et \end{array} $ $ \begin{array}{c} N \\ Et \end{array} $	0	1	Н
4-93	Et N N Me	0	1	Н
4-94	Br N N Me	0	1	н
4-95	CF <sub>3</sub> N Br Me	0	1	н
4-96	CF <sub>3</sub> N N C1 Me	0	1	н
4-97	CF <sub>3</sub> Me	0	1	Н
4-98	CF <sub>3</sub> N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
4-99	Br N Me Ne Me	0	1	н

[0200]

例示化合物 善 号	x	Y	m	R
4-100	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	O	1	H .
4-101	Br N N Me Me	0	1	Н
4-102	t Bu N N Me	0	1	Н
4-103	HO N N Me	0	1	Н
4-104	N N Me Me	0	1	Н
4-105	C1 N C1 Me	0	1	н
4-106	F N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
4-107	Br N BzO N Me	0	1	Н
4-108	N C1 Me	0	1	н

【0201】 【表96】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-109	Me N N N Me Me	0	1	н
4-110	Me N N N Me Me	0	2	Н
4-111	Me Ne Me	0	3	н
4-112	HO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	S	1	н
4-113	Me NN NA Me Me	0	1	Ме
4-114	Me N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	MeO
4-115	Me N HO N Me Me	0	1	C1
4-116	N N H	0	1	Н
4-117	\(\text{N}\)  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N  N	s	1	н

【表97】

[0202]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-118	N N Me	0	1	Н
4-119	N N Me	0	2	Н
4-120	N N Me	0	3	н
4-121	N Ne	0	4	н
4-122	N N Me	0	5	Н
4-123	N N Me	0	1	MeO
4-124	N N Me	· 0	1	Cl
4-125	N N Me	s	1	Н
4-126	N N Me	·s	3	Н

[0203] [表98]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-127	N N Et	0	1	Н
4-128	N N Et	s	1	н
4-129	N P <sub>1</sub>	o	1	н
4-130	N Pr	0	1	C1
4-131	N 1Pr	0	1	н
4-132	N <sub>N</sub>	S	1	н
4-133	N N Bu	0	1	Н
4-134	N N Bz	0	1	Н
4-135	N N B <sub>E</sub>	O	3	Н

[0204]

【表99】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-136	N N Bz	S	1	Н
4-137	N N Me	0	1	Н
4-138	N Et	0	1	Н
4-139	N Be	0	1	Н .
4-140	N N Bz	s	1	н
4-141		0	1	н
4-142	8 - Z Z	0	1	н
4-143	N N Me	ο.	1	н
4-144	N N Me	0	1	н

[0205]

【表100】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-145	N Me	s	1	Н
4-146	Me O N	0	1	н
4-147	Me O N	0	2	Н
4-148	Me ON N	o	3	н
4-149	Me Me N	0	4	н
4-150	Me O N	0	5	н
4-151	Me Me	s	1	Н
4-152	Me N N	s	2	Ħ
4-153	MeO N	0	1	Me

[0206]

例示化合物番号	х .	Y	m	R
4-154	Me O N	0	2	Ме
4-155	Me ON N	0	1	F
4-156	Me Me N	0	1	C1
4-157	MeO N	0	.1	н
4-158	MeO N	0	2	Н
4-159	MeO N	0	1	MeO
4-160	MeO N	S	1	н
4-161	MeO N	0	1	Н
4-162	MeO N	S	1	н

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-163	MeO N	0	1	н
4-164	i Bu N MeO	0	1	Н
4-165	i Bu MeO N	S	1	Н
4-166	Me N E t O	0	1	н
4-167	Me E t O N	0	1	MeO
4-168	E t O N	0	1	C1
4-169	E t O N	0	2	н
4-170	Me N EtO N	0	3	H
4-171	EtO N	s	1	н

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-172	E t O N	s	4	Et
4-173	Pro N	0	1	н
4-174	Pro N	Ø	1	Н
4-175	i Pro N	0	1	H
4-176	iPro N	0	3	н
4-177	Me N BuO	0	1	н
4-178	i BuO N	0	1	н
4-179	gBuO N	0	1	Н
4-180	t BuO	0	1	н

【0209】 【表104】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
4-181	BuO N	0	1	Н
4-182	BEO N	0	1	н
4-183	Me Me N	o	1	н
4-184	Me O N N N	0	1	H
4-185	EtO N	0	1	Н
4-186	F N N	0	1	Н
4-187	F. N.	0	1	н
4-188	Me C1 N Me	0	1	н
4-189	C1 N N	0	1	н

[0210]

例示化合物 香 号	x	Y	m	R
4-190	Et N	0	1	Н
4-191	Br N	0	1	н
4-192	CF <sub>3</sub> N Br	0	1	н
4-193	CF <sub>3</sub> Me	0	1	н
4-194	Me N CF3	0	1	Н
4-195	CF <sub>3</sub> N	0	1	Н
4-196	Br N Me N	0	1	н
4-197	F N N C1	0	1	Н
4-198	Br N Me Me	0	2	Н

[0211]

【表106】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-199	t Bu N	0	1	н
4-200	HO N	-0	1	н
4-201	Me N Me	0	1	н
4-202	C1 C1 N	0	1	н
4-203	F N N	0	1	н
4-204	Br N BzO	0	1	H
4-205	Me N C1	0	1	н
4-206	Me Me HO N Me	0	1	Н
4-207	Me HO N N Me	0	2	H

[0212]

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
4-208	Me Me HO N Me	0	3	Н
4-209	Me Me HO N	S	1	Н
4-210	Me Me HO N	0	1	Me
4-211	Me Me HO N N	0	1	MeO
4-212	Me Me HO N Me	0	1	Cl
4-213	Me.	0	1	н
4-214	Me N	0	2	н
4-215	Me N	0	3	н
4-216	Me N	o	4	н

【0213】 【表108】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
4-217	Me N N	0	5	н
4-218	Me N	0	1	MeO
4-219	Me N N	0	1	Cl
4-220	Me-N N	Ø	1	н
4-221	Me N N	Ø	3	н
4-222	E-N N	0	1	н
4-223	E-N N	s	1	н
4-224	Pr N	0	1	Н
4-225	Pr-N	0	1	CI

[0214]

【表109】

例示化合物 番 号	х	¥	m	R
4-226	i Pr N		1	н -
4-227	i Pr N	s	1	н
4-228	Bu N N	0	1	н
4-229	B <sub>E</sub> N	0	1	н
4-230	Bz N N	0	3	н
4-231	B <sub>R</sub>	S	1	н
4-232	Me N	0	1	Н
4-233	Et N	0	1	н
4-234	Bz N	0	1	н

[0215]

	【表110	【表110】				
例示化合物 番号	x	Y	m	R		
4-235	B <sub>E</sub> N N	s	1	н		
4-236	Me N N Me	0	1	н		

【0216】<u>表 5</u> 【0217】 【化13】

[0218]

【表111】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
5-1	N H	0	1	н
5-2	NH NH	0	2	н
5-3	. NH	0	3	н
5-4	() N H	0	4	H
5-5	() N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	5	MeO
5—6	N N N	Ø	1	н
5—7	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	MeO
5-8	CYN H NN NN	0	1	CI
5-9	© N N H	0	1	Ме

[0219]

【表112】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-10	()N N H	S	1	MeO
5-11	N N Me	0	1	н
5-12	N N Me	0	2	H
5-13	N N Me	0	3	H
5-14	N N- Me	0	4	н
5-15	N N-Me	0	5	Н
5-16	N N Me	Ø	1	Н
5-17	N N Me	S.	2	Н
5-18	N N Me	0	1	MeO

【0220】 【表113】

例示化合物 番 号	x	Y	m	R
5-19	N N Me	0	1	EtO
5-20	N N-Me	0	1	C1
5-21	N N Me	0	1	F
5-22	N N Me	0	1	Me
5-23	N N Me	0	1	iPr
5-24	N N- Me	0	2	Et
5-25	N N- Me	Ø	1	Cı
5-26	N N Me	S.	1	. Me
5-27		0	1	Н

[0221]

【表114】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-28	N <sub>N-t</sub>	0	2	Н
5-29	N Et	0	3	tBu
5-30	N Et	0	1	Me
5-31	C N N → Et	0	1	MeO
5-32	N Et	Ø	1	н
5-33	N N N-E t	S	1	PrO
5-34	. CYN Et	Ø	1	Me
5-35	N Pr	0	1	н
5-36	$ \begin{array}{c} \downarrow^{N} \\ \downarrow^{P_{\Gamma}} \end{array} $	0	3	H

[0222]

【表115】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-37	N Pr	0	1.	F
5-38	N Pr	s	1	Н
5-39	N i Pr	0	1	Н
5-40	N i Pr	0	2	н
5-41	N i Pr	s	1	н
5-42	N i Pr	s	5	C1
5-43	N Bu	0	1	н
5-44	N N-Bu	Ο.	4	Н
5-45	N Bu	s	1	н

【表116】

[0223]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-46	MeO NH	0	1	н
5-47	Me O N H	0	3	Н
5-48	MeO N H	S	1	Н
5-49	MeO Ne	0	1	<b>H</b>
5-50	MeO N N N Me	0	2	Н
5-51	MeO N N N N N Me	0	3	Н
5-52	MeO N Me	0	4	Н
5-53	MeO N Me	0	5	н
5-54	MeO N N Me	S	1	н

[0224]

【表117】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
5-55	MeO Ne	s	2	н
5-56	MeO Ne	0	1	Ме
5-57	MeO N N Me	0	1	MeO
5-58	MeO Ne	0	1	F
5-59	MeO N N Me	0	1	Cl
5-60	MeO N Et	0	1	Н
5 <del></del> 61	MeO N Et	0	2	Н
5-62	MeO N Et	Ο.	1	MeO
5-63	Me O N Et	S	1	Н

【0225】 【表118】

例示化合物 番 号	х .	Y	m	R
5-64	MeO NPr	0	1	Н
5-65	MeO NPr	Ø	1	Н
5-66	MeO N i Pr	0	1	Н
5-67	MeO N i Bu	0	1	H
5-68	MeO No	S	1	Н
5-69	E t O N N Me	0	1	Н
5-70	E tO N Me	0	1	MeO
5-71	E t O N N Me	0	1	C1
5-72	E t O N Me	0	2	Н

[0226]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-73	EtO N N Me	0	3	H
5-74	EtO N N Me	s	1	н
5-75	E t O N N Me	S	4	Et
5-76	Pro N N Me	0	1	Н
5-77	Pro N Me	s	1	н
5-78	i PrO N N Me	0	1	н
5-79	i PrO N N Me	0	3	н
5-80	BuO. NMe	0	1	н
5-81	i BuO	0	1	н

[0227]

【表120】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-82	s BuO N N Me	0	1	н
5-83	t BuO N Me	0	1	Н
5-84	BuO N Pr	0	1	Н
5-85	B <sub>X</sub> O N N Me	0	1	Н
5-86	MeO N N N Me	0	1	н
5-87	MeO N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	Н
5-88	EtO N F Me	0	1	H
5-89	F N N F Me	0	1	Н
5-90	F N N Ne	0	1	н

[0228]

【表121】

例示化合物 香 号	х	Y	m	R
5-91	C1 N Me Ne	0	1	н
5-92	C1 NN Et	0	1	н
5-93	E t N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
5-94	Br N N Me	0	1	Н
5-95	CF <sub>3</sub>	0	1	Н
5-96	CF <sub>3</sub> N C1 Me	0	1	Н
5-97	CF3 Me	0	1	н
5-98	CF <sub>3</sub> N Ne	0	1	Н
5-99	Br N Me Ne Me	0	1	Н

【0229】 【表122】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-100	F N N N Me	0	1	н
5-101	Br N N Me Me	0	1	Н
5-102	tBu N N Me	0	1	н
5-103	HO N Ne	0	1	<b>H</b>
5-104	N Ne Me	0	1	H
5-105	C1 N C1 Me	0	1	H
5-106	F N F Me	O	1	н
5-107	Br N Me	0	1	Н
5-108	N N C1 Me	0	1	Н

[0230]

【表123】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-109	Me N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	1	н
5-110	Me N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	0	2	н
5-111	Me No Me	0	3	Н
5-112	Me N N N Me Me	S	1	<b>H</b>
5-113	Me N N N Me Me	0	1	Me
5-114	Me N N N Me Me	0	1	MeO
5-115	Me N N N Me Me	0	1	C1
5-116	H N N	0	1	Н
5-117	, H	s	1	Н

[0231]

【表124】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-118	N N Me	0	1	Н
5-119	N Ne	0	2	н
5-120	N Ne	0	3	Н
5-121	N N Me	0	4	H .
5-122	N N Me	0	5	н
5-123	N N Me	0	1	MeO
5-124	N N Me	0	1	C1
5-125	N N Me	s	1	Н
5-126	N N- Me	s	3	Н

【0232】 【表125】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-127	N N Et	0	1	Н
5-128	N N Et	Ø	1	Н
5-129	N Pr	0	1	Н
5-130	N N Pr	0	1	C1
5-131	N 1 Pr	. 0	1	н
5-132	N i Pr	S	1	Ħ
5-133	N Bu	0	1	Н
5-134	N N BE	0	I	н
5-135	N N B <sub>R</sub>	0	3	н

【0233】 【表126】

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-136	N N B <sub>E</sub>	s	1	н
5-137	N N Me	O	1	Н
5-138	N N Et	0	1	Н
5-139	N N B B	0	1	Н
5-140	N N Ba	s	1	н
5-141	(N)	0	1	н
5-142	N N Me	0	1	Н
5-143	N N Me	0	1	Н
5-144	N Me	0	1	н

[0234]

【表127】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
5-145	N Me	S	1	н
5-146	Me O N	0	1	Н
5-147	Me O N	0	2	Н
5-148	Me O N	0	3	н
5-149	Me N N	0	4	Н
5-150	Me O N	0	5	Н
5-151	Me O N	S	1	Н
5-152	Me O N	Ø	2	н
5-153	Me O N	0	1	Me

【0235】 【表128】

例示化合物 番 号	Х	Y	m	R
5-154	Me N Me O	0	2	Me
5-155	Me O N	0	1	F
5-156	Me N N	0	1	Cı
5-157	MeO N	0	1	Н .
5-158	Me O N	0	2	н
5-159	MeO N	0	1	MeO
5-160	MeO N	S	1	н
5-161	MeO N	0	1	н
5-162	Pr NeO N	s	1	н

【0236】 【表129】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
5-163	i Pr N Me O	0	1	н
5-164	MeO N	0	1	н
5-165	i Bu NeONN	S	1	Н
5-166	Me N E t O	0	1	H
5-167	E t O N	0	1	MeO
5-168	Me E t O N	0	1	Cl
5-169	Me N E t O	0	2	Н
5-170	Me EtO N	0.	3	н
5-171	Me EtO N	S	1	Н

[0237] 【表130】

例示化合物 番号	X	Y	m	R
5-172	Me N E t O	S	4 .	Et
5-173	Pro N	0	1	н
5-174	Pro N	S	1	Ħ
5-175	iPro N	0	1	н .
5-176	iPro N	0	3	Н
5-177	Me N BuO N	0	1	н
5-178	i BuO N	0	1	Н
5-179	sBuO N	0	1	н
5-180	t BuO N	0	1	Н

[0238] [表131]

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-181	BuO N	0	1	н
5-182	Me N N	0	1	н
5-183	Me Me N	0	1	н
5-184	MeO N	0	1	н
5-185	Me E t O N N	0	1	Н
5-186	F N N	0	1	н
5-187	Me N N	0	1	н
5-188	Me C1 Me	<b>O</b> ·	1	Н
5-189	C1 NN	0	1	Н

[0239]

例示化合物 番号	х	Y	m	R
5-190	E t N	0	1	Н
5-191	Me Br N	0	1	Н
5-192	CF <sub>3</sub> N Br	0	1	Н
5-193	CF <sub>3</sub> Ne	. 0	1	Н
5—194	Me N CF3	0	ı	н
5-195	CF <sub>3</sub> Ne	0	1	н
5-196	Br N Me N	0	1	Н
5-197	$ \begin{array}{c} Me \\ N \\ C1 \end{array} $	0	1	Н
5-198	Br N Me Me	0	2	н

【0240】 【表133】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-199	t Bu N	0	1	н
5-200	HO N	0	1	н .
5-201	Me N Me	0	1	Н
5-202	Me C1 N	0	1	H
5-203	F N N	0	1	н
5-204	Br N BzO	o.	1	Н
5-205	Me N C1	0	1	Н
5-206	Me Me N N N N N N N N N N N N N N N N N	0 -	1	Н
5-207	Me Me HO N Me	0	2	н

【0241】 【表134】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-208	Me Me HO N Me	0	3	Н
5-209	Me Me	S	1	Н
5-210	Me Me HO N Me	0	1	Me
5-211	Me Me HO N Me	0	1	MeO
5-212	Me Me HO N	0	1	C1
5-213	Me .	0	1	Н
5-214	Me N N	0	2	н
5-215	Me N N	ο.	3	Н
5-216	Me N	О	4	н

【0242】 【表135】

例示化合物 番 号	х	Y	m	R
5-217	Me N N	0	5	Н
5-218	Me N N	0	1	MeO
5-219	Me N N	0	1	C1
5-220	Me N N	S	1	H
5-221	Me N	Ø	3	Н
5-222	Et N	0	1	Н
5-223	Et N	s	1	н
5-224	Pr N N	0 -	1	Н
5-225	Pr N	О	1	C1

【0243】 【表136】

例示化合物 番号	x	Y	m	R
5-226	iPr N N	0	1	н
5-227	iPr	s	1	н
5-228	Bu N	0	1	н
5-229	BE N	0	1	н
5-230	B <sub>Z</sub>	0	3	н
5-231	B <sub>B</sub>	s	1	н
5-232	Me N	0	1	н
5-233	Et N	0 -	1	Н
5-234	Bz N	0	1	Н

# [0244]

	【表137	<u> </u>		
例示化合物 番号	X .	Y	m	R
5-235	Bz N	s	1	н
5-236	Me N N Me	0	1	н

【 0 2 4 5 】 表 1 ないし表 5 において、M e = メチル、E t = エチル、P r = プロピル、i P r = イソプロピル、B u = ブチル、i B u = イソブチル、t B u = ターシャリブチル、B z = ベンジル、A c = アセチル、を示す。

【0246】上記表において、好適には、例示化合物番

号 1-11、1-16、1-18、1-22、1-2 7、1-49、1-50、1-54、1-56、1-9 8、1-100、1-109、1-129、1-14 6、1-155、1-156、1-229、1-23 7、1-238、1-247、1-250、2-11、 2-49、2-146、2-229、2-237、2250、3-11、3-49、3-146、3-22 9、3-237、3-250、4-11、4-49、4 -146、4-229、4-237、4-250、5-11、5-49、5-146、5-229、5-23 7、5-250の化合物である。

【0247】更に好適には、例示化合物番号 1-1 1、1-16、1-18、1-22、1-27、1-4 9、1-50、1-54、1-56、1-98、1-1 00、1-109、1-129、1-146、1-22 9、1-237、1-238、1-247、1-250 2-11、2-49、2-146、2-229、2-2 37、2-250、3-11、3-49、3-146、3-229、3-237、3-250の化合物である。【0248】更に好適には、例示化合物番号 1-1 1、1-16、1-27、1-49、1-50、1-5 4、1-98、1-100、1-109、1-129、1-146、1-229、1-237、1-238、1-250の化合物である。

【0249】最も好適には、例示化合物番号

1-11; 5- [4-(1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン、

1-49; 5-[4-(6-メトキシ-1-メチルベ

ンズイミダゾールー2ーイルメトキシ) ベンジル] チア ゾリジンー2、4ージオン、

1-146; 5- [4-(5-メトキシ-1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン、

1-229; 5-[4-(1-ベンジルベンズイミダ ゾール-5-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-・2、4-ジオン、

1-237; 5-[4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン、および

1-250; 5-[4-(5-アセトキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオンである。

[0250]

【発明の実施の形態】次に、前記一般式(1)を有する 化合物の製造法を述べる。

【0251】製造法(I)

[0252]

【化14】

第1工程

$$X \longrightarrow (CH_2)_{m-1} CO_2 R' \longrightarrow X \longrightarrow (CH_2)_m OH$$
(2) (3)

第 3 工程 配定 1 尺 は 持 和 本 未 洗 加

【0253】第1工程は前記一般式(3)(式中、Xおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(2)(式中、Xおよびmは前述したものと同意義を示し、R'は炭素数1ないし5個を有する直鎖状または分枝鎖状のアルキル基を示す。)を有する化合物を還元することにより行なわれる。

【0254】R′が示す炭素数1ないし5個を有する直鎖状または分枝鎖状のアルキル基としては、置換分

(b) について述べたのと同様な基をあげることができ

る。好適にはメチル、エチル、n-ブチルである。

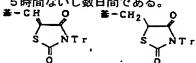
【0255】反応は通常、還元剤の存在下で水素添加することにより行なわれる。

【0256】使用される還元剤としては、例えば水素化ホウ素リチウム、水素化ホウ素ナトリウム、水素化シアノホウ素ナトリウム、水素化アルミニウムリチウム、水素化ジイソプロピルアルミニウムのような金属水素化物があげられる。

【0257】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなけ

れば特に限定はなく例えば、ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0258】反応は冷却下ないし加温下で行なわれる。 【0259】反応時間は反応試薬、反応温度などによっ て異なるが、通常0.5時間ないし数日間である。



【0263】(式中、Trはトリフェニルメチル基を示す。)を示す。]を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(3)(式中、Xおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物と前記一般式

(4) (式中、Y、RおよびZ'は前述したものと同意 義を示す。)を有する化合物とを通常の光延反応 [ 0. Mitsunobu、シンセシス(Synthesis)、1頁(1981 年)]に準じた反応に付すことによって行なわれる。

【0264】反応は通常溶剤の存在下でアゾ化合物類とホスフィン類の存在下で行われる。反応試薬のアゾ化合物類としてはアゾジカルボン酸ジエチル、1、1'ー(アゾジカルボニル)ジピペリジンなどが用いられる。ホスフィン類としてはトリフェニルホスフィン、トリブチルホスフィンなどが用いられる。

【0265】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行われる。使用される溶剤としては反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1、2ージクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0266】反応温度は室温下ないし加温下で行なわれ、好適には室温下ないし60℃で行われる。

【0267】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが、通常数時間ないし数日間であり、好適には5時間ないし3日間である。

【 0 2 6 8 】 第 3 工程は前記一般式 (1) (式中、X、Y、Z、R およびmは前述したものと同意義を示す。但し、Zが、基 - C H<sub>2</sub> N (O H) C (= O) - N H<sub>2</sub>、であるものは除く。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式 (5) (式中、X、Y、R、mお

【0260】反応は好適にはアルコール類またはアルコール類との混合溶剤中で水素化ホウ素リチウムの存在下、1時間ないし1日間、室温ないし還流下で行なわれるか、あるいは炭化水素類またはエーテル類の溶剤中、水素化アルミニウムリチウムまたは水素化ジイソブチルアルミニウムの存在下、1時間ないし10時間、冷却下ないし加温下で行なわれる。

【 0 2 6 1 】第 2 工程は前記一般式 (5) [式中、X、Y、Rおよびmは前述したものと同意義を示し、Z'は 【 0 2 6 2 】

よびZ'は前述したものと同意義を示す。)を有する化 合物に溶剤の存在下または非存在下でトリフルオロ酢 酸、トリフルオロメタンスルホン酸、酢酸、塩酸、硫酸 などのような酸と反応させることによって行なわれる。

【0269】溶剤を使用する場合、使用される溶剤としては反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類:クロロホルム、ジクロロメタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類:ジェチルエーテル類:ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミドのようなアミド類:酢酸エチル、酢酸メチルのようなエステル類:水:またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。反応温度は氷冷下ないし加温下である。反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが、通常数十分ないし数十時間であり、好適には0.5時間ないし10時間である。

【0270】また、本工程は前記一般式(5)を有する化合物に接触水素添加反応を行うことによっても達成される。使用される触媒としては例えばパラジウム一炭素、パラジウム黒、酸化白金、白金黒などがあげられ、好適にはパラジウムー炭素である。

【0271】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類;ジメチルル、イソプロパノールのようなアルコール類;ジメチルカン酸トリアミドのようなアミド類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0272】反応温度は室温下ないし加温下である。

【0273】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが、通常数時間ないし数日間であり、好適には1時間ないし1日間である。製造法(II)

【0274】 【化16】

第4工程

第5工程

【0275】第4工程は前記一般式(6)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(3)(式中、Xおよびmは前述したものと同意義を示す。)に水素化ナトリウムのような塩基を作用させた(第1段階)後、2ーメトキシー4ーフルオロベンズアルデヒドのようなpーフロベンズアルデヒド誘導体と反応させる(第2段階)ことにより達成される。

【0276】第1段階は通常、溶剤の存在下で好適に行われる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0277】反応は氷冷下ないし加温下で行なわれる。 【0278】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤など によって異なるが、通常数十分ないし1日間であり、好適には1時間ないし10時間である。

【0279】第2段階は第1段階反応が終了後、反応混合物中にpーフロロベンズアルデヒド誘導体を加え、室温下ないし加温下に反応させることによって行なわれる。

【0280】反応時間は反応試薬、反応温度などによって異なるが、通常数十分ないし数日間である。

【0281】第5工程は前記一般式(7)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(6)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物とチアゾリジンー2、4ージオンとを反応させることによって得られる。

【0282】反応は触媒の存在下または非存在下で行なわれる。反応を触媒の存在下で行う場合、使用される触媒としては、例えば酢酸ナトリウム、ピペリジニウムアセテートまたはピペリジニウムベンゾエートなどがあげられる。

【0283】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなアルコール類;ジメチルホルムアミド、ベキサメチルリン酸トリアミドのようなアルコール類;ジメチルホルムアミド、のようなアルコールがリアミドのようなアルコールが大力のようなアルコールが大力に対している。1, アセトアミド類;ジクロメタン、クロロホルム、1, アセトジクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類;アギ酸エチル、プロピオニトリルのようなニトリル類; ギ酸エチル、酢酸エチルのようなエステル類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0284】反応は通常加温下に行なわれる。

【0285】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが、通常1時間ないし50時間である。【0286】第6工程は前記一般式(8)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(7)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を接触水素添加反応による還元に付すことよって行なわれる。使用される触媒としては、例えばパラジウムー炭素、パラジウム黒であり、好適にはパラ

ジウムー炭素である。

【0287】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行われる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えば、ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類:ジェチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフランのようなエーテル類:メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類:ギ酸、酢酸、プロピオン酸のような有機酸類:ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0288】反応は室温下ないし加温下に行われる。

【0289】反応は通常大気圧下ないし加圧下で行なわれ、好適には加圧下で行なわれる。反応時間は圧力、温度、触媒などによって異なるが通常数時間ないし数日間であり、好適には1時間ないし1日間である。

【0290】また該工程は金属水素化物を反応させることによっても達成される。反応は通常、W093/13 09A号に開示された方法に準じて行なうことができる。

【0291】製造法(III)

[0292]

【化17】

(9) 
$$\xrightarrow{\text{C1CNCO}}$$
  $x \xrightarrow{\text{CH}_2} = 0$ 

化合物を製造する工程であり、前記一般式 (6) (式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物とヒドロキシルアミン (好適にはヒドロキシルアミン塩酸塩)とを反応させた後、還元することにより得られる。

【0294】前記一般式(6)を有する化合物とヒドロ キシルアミン(塩酸塩)との反応は通常溶剤の存在下で 好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影 響を与えなければ特に限定はなく、例えばペンゼン、ト ルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水 素類;ジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフ ランのようなエーテル類:メタノール、エタノール、イ ソプロパノールのようなアルコール類;ジメチルホルム アミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸ト リアミドのようなアミド類;ジクロロメタン、クロロホ ルム、1、2-ジクロロエタンのようなハロゲン化炭化 水素類:アセトニトリル、プロピオニトリルのようなニ トリル類: ギ酸エチル、酢酸エチルのようなエステル 類:ピリジン、トリエチルアミン、N、N-ジイソプロ ピルーNーエチルアミンのようなアミン類: またはこれ らの混合溶剤が好適に用いられる。

【0295】反応は室温ないし加温下に行なわれる。

【0296】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが、通常数時間ないし数十時間である。

【0297】次いで、還元反応は還元剤の存在下で水素添加することにより行われる。使用される還元剤としては、例えば水素化アルミニウムリチウム、水素化ジイソブチルアルミニウム、水素化ホウ素リチウム、水素化ホウ素ナトリウム、水素化シアノホウ素ナトリウムのような金属水素化物があげられる。

【0298】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフランのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0299】反応は冷却下ないし加温下で行なわれる。 【0300】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤など によって異なるが、通常数十分ないし1日間である。

【0301】第8工程は前記一般式(10) (式中、

X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(9) (式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物とトリメチルシリルイソシアネート(イソシアン酸トリメチルシリル)とを反応させることによって得られる。

【0302】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフランのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;ジクロロメタン、クロロホルム、1,2ージクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0303】反応は冷却下ないし加温下に行なわれる。

【0304】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが通常数十分ないし数日間である。

【0305】第9工程は前記一般式(11)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を製造する工程であり、前記一般式(9)(式中、X、Rおよびmは前述したものと同意義を示す。)を有する化合物とN-(クロロカルボニル)イソシアナートとを反応させることによって得られる。

【0306】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;ジクロロメタン、クロロホルム、1,2ージクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類;アセトニトリル、プロピオニトリルのようなニトリル類;ギ酸エチル、酢酸エチルのようなエステル類:またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0307】反応は冷却下ないし加温下に行なわれる。

【0308】反応時間は反応試薬、反応温度、溶剤などによって異なるが通常数十分ないし数十時間である。

【0309】製造法(IV)

[0310]

【化18】

【0311】第10工程は前記一般式(14)(式中、Y、Rおよびmは前述したものと同意義を示し、Y'は酸素原子又は硫黄原子を示し、Qは低級アルコキシカルボニル基、ホルミル基、保護されたホルミル基、カルボキシル基またはヒドロキシ基を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(12)(式中、Qは前述したものと同意義を示し、Haloはハロゲン原子を示す。)を有する化合物と前記一般式(13)(式中、Y、Y'およびRは前述と同意義を示す。)を有する化合物を塩基の存在下に反応させることにより行なわれる。

【0312】使用される塩基としては、例えば水素化ナトリウム、水素化カリウム、炭酸カリウム、炭酸セシウムのような無機塩基類およびトリエチルアミンなどのような有機塩基類があげられる。

【0313】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく例えば、ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0314】反応は冷却下ないし加温下で行なわれる。

【0315】反応時間は反応試薬、反応温度などによって異なるが、通常0.5時間ないし数日間である。

【0316】反応は好適にはアミド類またはアミド類と の混合溶剤中で水素化ナトリウムの存在下、1時間ない し10時間、冷却下ないし加温下で行なわれる。

【0317】なお、本工程によって製造される前記一般

式(14)を有する化合物は、それらを経由して他の目的化合物を製造することができるので重要な中間体である。なお、Qがカルボキシル基、ヒドロキシ基である化合物は、Qが低級アルコキシカルボニル基、ホルミル基又は保護されたホルミル基から常法によって容易に製造される。

【0318】第11工程は前記一般式(15)(式中、X、Y、Y'、Rおよびmは前述と同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、

(a) 前記一般式(14)(式中、Y、Y'、Rおよび mは前述と同意義を示し、Qは低級アルコキシカルボニル基を示す。)を有する化合物と1、2ージアミノベンゼン誘導体を反応させることによって行なわれる。

【0319】ここに、Qが低級アルコキシカルボニル基 を示す場合、該基としは炭素数2ないし7個を有する直 鎖状もしくは分枝鎖状の低級アルコキシカルボニル基が 好ましく、例えばメトキシカルボニル、エトキシカルボ ニル、プロポキシカルボニル、イソプロポキシカルボニ ル、ブトキシカルボニル、イソブトキシカルボニル、s ーブトキシカルボニル、t-ブトキシカルボニル、ペン チルオキシカルボニル、イソペンチルオキシカルボニ ル、ネオペンチルオキシカルボニル、2-メチルブトキ シカルボニル、1ーエチルプロポキシカルボニル、4ー メチルペンチルオキシカルボニル、3-メチルペンチル オキシカルボニル、2-メチルペンチルオキシカルボニ ル、1-メチルペンチルオキシカルボニル、3,3-ジ メチルブトキシカルボニル、2,2ージメチルブトキシ カルポニル、1,1ージメチルブトキシカルボニル、 1, 2-ジメチルブトキシカルポニル、1, 3-ジメチ

ルブトキシカルポニル、2、3-ジメチルブトキシカル

ボニル、2ーエチルブトキシカルボニル、ヘキシルオキシカルボニル、イソヘキシルオキシカルボニルを挙げることができる。これらのうち、好ましくは炭素数 2 ないし5 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の低級アルコキシカルボニル基、例えばメトキシカルボニル、エトキシカルボニル、プロポキシカルボニル、イソプロポキシカルボニル、ブトキシカルボニル、イソブトキシカルボニルであり、更に好ましくはメトキシカルボニル、エトキシカルボニルである。

【0320】反応は通常、溶剤の存在下または非存在下に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく例えば、ベンゼン、トルエン、キシレンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;メタノール、エタノール、ブタノールのようなアルコール類;酢酸、プロピオン酸のような酸類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0321】反応は加温下で行なわれる。

【0322】反応時間は反応試薬、反応温度などによって異なるが、通常3時間ないし数日間である。

【0323】反応は好適には溶剤の非存在下で50℃ないし150℃で5時間ないし2日間加温下で行なわれる。

【0324】(b)前記一般式(14)(式中、Y、Y'、Rおよびmは前述と同意義を示し、Qはホルミル基を示す。)を有する化合物と1,2ージアミノベンゼン誘導体を反応させた後、酸化剤と処理することにより行なわれる。

【0325】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく例えは、ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、1,2

ージメトキシエタンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類;酢酸、プロピオン酸のような酸類;ジメチルスルホキシドのようなスルホキシド類;またはこれらの混合溶剤が好適に用いられる。

【0326】反応は室温下ないし加温下で、1時間ないし数日間で行なわれ、次いで酸化剤で処理される。

【0327】酸化剤としてはヨウ素、酸化銀、四酢酸鉛などがあげられ、好適にはヨウ素である。

【0328】酸化剤との処理は通常、溶剤の存在下で好適に行なわれる。使用される溶剤としては反応に影響を与えなければ特に限定はなく例えば、上記に示した溶剤が用いられる。好適にはエーテル類である。処理は好適には加温下で、1時間ないし数日間である。

【0329】(c)前記一般式(14)(式中、Y、Y、Rおよびmは前述と同意義を示し、Qは保護されたホルミル基を示す。)でQが保護されたホルミル基である場合、例えばジメトキシメチル、ジエトキシメチル、1、3ージオキサンー2ーイル、1、3ージオキソランー2ーイル、1、3ージチアンー2ーイル、1、3ージチオランー2ーイルがあげられ、第11工程の反応に先だって、脱保護を行った後、反応に付すことができる。脱保護反応は通常の脱保護反応、例えば T.W. Green、プロテクティブ グループス イン オーガニックシンセシス(Protective Groups in Organic Synthesis)、John Wiley & Sons; J.F.W. McOmie、プロテクティブ グループス イン オーガニック ケミストリー(Protective Groups in Organic Chemistry)、Plenum Press に準じて行なうことにより達成される。

[0331]

【0330】製造法(V)

【化19】

$$Q-(CH_2)_{\overline{m}}$$
 Halo + HY  $NO_2$  第12工程  $NO_2$  第13工程  $Q-(CH_2)_{\overline{m}}$  Y  $NO_2$  第13工程  $Q-(CH_2)_{\overline{m}}$  Y  $Q-(CH_2)_{\overline{m}}$ 

【0332】本製造法(V)は前記一般式(14)(式中、Q、Y、Y'、Rおよびmは前述と同意義を示す。)を有する化合物を製造する方法である。

【0333】第12工程は前記一般式(17)(式中、Q、m、YおよびRは前述と同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(12)(式中、Q、mおよびHaloは前述と同意義を示す。)を有する化合物と前記一般式(16)(式中、YおよびRは前述と同意義を示す。)を有する化合物を塩基の存在下に反応させることにより行なわれる。反応は前記製造法(IV)に示された第10工程に準じて行なわれる。【0334】第13工程は前記一般式(18)(式中、

【0334】第13工程は前記一般式(18)(式中、 Q、m、YおよびRは前述と同意義を示す。)を有する 化合物を製造する工程であり、前記一般式(17)を有 する化合物を還元することによって得られる。

【0335】反応は通常の接触水素添加反応および一般 的なニトロ基の還元法である亜鉛ー酢酸法または錫一塩 酸法を用いることによって行なわれる。

【 0 3 3 6 】第 1 4 工程は前記一般式 ( 1 9 ) (式中、Q、m、Y、R、R'およびHaloは前述と同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式 ( 1 8 ) を有する化合物に Meerwein Arylation反応を行なうことによって得られる。【 0 3 3 7 】反応は通常、特開昭 5 5 - 2 2 6 5 7 号および S. Oae らの方法 (Bull. Chem. Soc. Jpn. 、53巻、1065頁 (1980年) )に準じて行なわれる。

【0338】第15工程は前記一般式(14)(式中、Q、m、Y、Y、およびRは前述と同意義を示す。)を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(19)を有する化合物と尿素またはチオ尿素を反応させ、次いで加水分解反応に付すことによって行なわれる。

【0339】反応は通常、特開昭55-22657号に 記載の方法に準じて行なわれる。

【0340】このようにして得られた前記一般式(14)(式中、Q、m、Y、Y'およびRは前述と同意義を示す。)を有する化合物は、前述の第11工程の

(a) または(b) で述べたと同様な反応に付すことによって、前記一般式(15)(式中、X、Y、Y'、R およびmは前述と同意義を示す。)を有する化合物が得られる。

【0341】上記製造法(I)における原料化合物である前記一般式(2)を有する化合物が、下記一般式(2 -1):

[0342]

【化20】

$$\begin{array}{c|c}
 & N \\
 & (2-1) \\
 & (CH_2)_{\overline{m}} - COO_2R'
\end{array}$$

【0343】 [式中のベンズイミダゾール環の2位、4位、5位、6位および7位は置換分(a)で置換されていてもよく、mおよびR'は前述したものと同意義を示す。ここに、ベンズイミダゾール環の2位が置換分

(a) で置換されている場合、該置換分(a) は、好適には炭素数 1 ないし 4 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c) を有していてもよい炭素数 6 ないし 1 0 個を有するアリール基または置換分

(c) を有していてもよい炭素数 7 ないし 1 1 個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。]を有する場合、該化合物は下記の方法にしたがって合成することができる。

[0344]

【0345】第16工程は前記一般式(22)「式中の ベンズイミダゾール環の2位、4位、5位、6位および 7位は置換分(a)で置換されていてもよい。ここに、 ベンズイミダゾール環の2位が置換分(a)で置換され ている場合、該置換分 (a) は、好適には炭素数 1 ない し4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、 置換分(c)を有していてもよい炭素数6ないし10個 を有するアリール基または置換分(c)を有していても よい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝 鎖状のアラルキル基である。]を有する化合物を合成す る工程であり、前記一般式(20) [式中のベンゼン環 部分は、1ないし4個の置換分(a)を有していてもよ い。〕を有する化合物と、前記一般式(21) [式中の 炭素原子は、水素原子の代わりに置換分(a)を有して いてもよく、R''は水素原子または低級アルキル基を示 す。ここに式中の炭素原子が水素原子の代わりに置換分 (a)を有している場合、該置換分(a)は、好適には 炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の アルキル基、置換分(c)を有していてもよい炭素数6 ないし10個を有するアリール基または置換分(c)を 有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状 もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。] を有する化 合物とを、前述の第11工程に準じて反応させることに より行われる。

【0346】ここにR'が低級アルキル基を示す場合、該基としては炭素数1ないし6個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基が好ましく、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、ネーブチル、tーブチル、ペンチル、イソペンチル、ネオペンチル、2ーメチルブチル、3ージメチルブチル、1ーメチルブチル、1ージメチルブチル、1・1ージメチルブチル、1・2ージメチルブチル、1・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、2・3ージメチルブチル、3ージメチルブチルである。好適にはメチル、エチルである。

【0347】第17工程は前記一般式(2-1) [式中

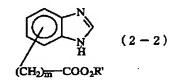
のベンズイミダゾール環の2位、4位、5位、6位および7位は置換分(a)で置換されていてもよく、mおよびR'は前述したものと同意義を示す。ここに、ベンズイミダゾール環の2位が置換分(a)で置換されている場合、該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基または置換分(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。]を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(22)[式中のベンズイミダゾール環の2位、4位、5位、6位および7位は置換分

(a) で置換されていてもよい。] を有する化合物に前記一般式(23) [式中、Halo、mおよびR'は前述のものと同意義を示す。] を有する化合物を、公知の方法(例えばLiebigs Ann. Chem., 1078頁(1983 年))に準じて、縮合させることにより行われる。

【0348】また、上記製造法 (I) における原料化合物である前記一般式 (2) を有する化合物が、下記一般式 (2-2):

[0349]

【化22】



【0350】 [式中のベンズイミダゾール環基は1ないし5個の置換分(a)を有していてもよく、mおよびR'は前述のものと同意義を示す。ここに、イミダゾール環部分が置換分(a)で置換されている場合、該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基または置換分(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。〕を有する場合、下記の方法にしたがって合成することができる。

[0351]

【0352】第18工程は、前記一般式(25) [式中のペンゼン環部分は1ないし3個の置換分(a)を有していてもよく、式中のアミノ基は1個の置換分(a)で置換されていてもよく、mおよびR'は前述のものと同意義を示す。ここに式中のアミノ基が1個の置換分

(a) で置換されている場合、該置換分(a) は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c) を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基または置換分

(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。]を有する化合物を製造する工程であり、前記一般式(2

4) [式中のベンゼン環部分は1ないし3個の置換分 (a) を有していてもよく、式中のアミノ基は1個の置 換分(a)で置換されていてもよく、mおよびR'は前 述のものと同意義を示す。ただし、アミノ基のオルト位 のどちらか一方は必ず水素原子であり、式中のアミノ基 が1個の置換分(a)で置換されている場合、該置換分 (a) は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状 もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有して いてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基ま たは置換分(c)を有していてもよい炭素数7ないし1 1個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基で ある。]を二トロ化することにより行われる。この二ト 口化反応は公知の方法、例えばHoggett, J. G.: Moodie, R. B. ; Peton, J. R. ; Schofield, K., Nitration and Aromatic Reactivity, Cambridge University Press, Cambridg e, 1971, Schofield, K., Aromatic Nitration, Cambrid ge University Press, Cambridge, 1980 , P.B.D. de la Mare and J. H. Ridd, Aromatic Substitution, Nitrati on and Halogenation, Academic Prees, New York, 195 9. A. V. Topchiev, Nitration of Hydrocarbons and Oth er Organic Compounds, Pergamon Press, New York, 19 59 L.F. Albright, in Kirk-Othmer, Encyclopedia of

Chemical Technology, 2nd ed. Vol. 13. The Interscie

nce Encyclopedia, Inc., New York, p. 784, 1967, H.

A. Lubs, Chemistry of Synthetic Dyes and Pigments, Reinhold Publishing Corp., New York, 1955, pp. 12,71,350 などに記載の方法に準じて行われる。

【0353】第19工程は、前記一般式(26) [式中のペンゼン環部分は1ないし3個の置換分(a)を有していてもよく、式中の一方のアミノ基は1個の置換分(a)で置換されていてもよく、mおよびR'は前述のものと同意義を示す。ここに、式中の一方のアミノ基が1個の置換分(a)で置換されている場合、該置換分

(a) は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状 もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有して いてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基ま たは置換分(c)を有していてもよい炭素数7ないし1 1個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基で ある。〕を有する化合物を製造する工程であり、前記一 般式(25) [式中のベンゼン環部分は1ないし3個の 置換分(a)を有していてもよく、式中のアミノ基は1 個の置換分(a)で置換されていてもよく、mおよび R'は前述のものと同意義を示す。ここに式中のアミノ 基が1個の置換分(a)で置換されている場合、該置換 分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖 状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有し ていてもよい炭素数6ないし10個を有するアリール基 または置換分(c)を有していてもよい炭素数フないし 11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基 である。〕を有する化合物を還元することにより行われ

【0354】使用される還元剤としてはスズと塩化水素、亜鉛とアルコール性アルカリ、亜鉛と酢酸、ナトリウムアマルガムと水、または、水素化ホウ素ナトリウムとスズの組合せなどを用いることができる。

【0355】反応は通常、溶剤の存在下または非存在下で好適に行われる。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなければ特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、ヘプタンなどのような炭化水素類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジ

オキサンなどのようなエーテル類: ジメチルホルムアミ ド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリア ミドなどのようなアミド類;メタノール、エタノール、 プロパノール、tーブタノールなどのようなアルコール 類:酢酸エチルなどのようなエステル類:水またはこれ らの混合溶剤をあげることができる。

【0356】反応は冷却下ないし加温下で行われる。 【0357】反応時間は、反応試薬、反応温度などによ って異なるが、通常0.5時間ないし数日間である。 【0358】また本工程は接触水素添加反応によって行 うこともできる。

【0359】使用される触媒としては、例えばラネーニ ッケル、パラジウムー炭素、パラジウム黒、ルテニウ ム、酸化白金などをあげることができる。

【0360】反応は通常、溶剤の存在下で好適に行われ る。使用される溶剤としては、反応に影響を与えなけれ ば特に限定はなく、例えばベンゼン、トルエン、キシレ ン、ヘキサン、ヘプタンなどのような炭化水素類;ジェ チルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンなどの ようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルア セトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドなどのよう なアミド類:メタノール、エタノール、プロパノール、 エチレングリコールなどのようなアルコール類;クロロ ホルム、塩化メチレンなどのようなハロゲン化炭化水素 類;水またはこれらの混合溶剤を好適に用いることがで きる。

【0361】反応は室温ないし加温下で行われる。 【0362】反応時間は、反応試薬、反応温度などによ って異なるが、通常0.5時間ないし数日間である。

【0363】第20工程は、前記一般式(2-2)「式

【化24】 NH<sub>2</sub> NO<sub>2</sub> (27)(28)(20)

【0366】第21工程は、前記一般式(28) [式中 のペンゼン環部分は1ないし4個の置換分(a)を有し ていてもよく、式中のアミノ基は1個の置換分(a)で 置換されていてもよい。ここに、式中のアミノ基が1個 の置換分(a)で置換されている場合、該置換分(a) は、好適には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしく は分枝鎖状のアルキル基、置換分(c)を有していても よい炭素数6ないし10個を有するアリール基または置 換分(c)を有していてもよい炭素数フないし11個を 有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基であ る。〕を有する化合物を製造する工程であり、前記一般 式(27) [式中のペンゼン環部分は1ないし4個の置 換分(a)を有していてもよく、式中のアミノ基は1個 の置換分(a)で置換されていてもよい。ただし、アミ ノ基のオルト位のどちらか一方は必ず水素原子であり、

中のペンズイミダゾール環基は1ないし5個の置換分 (a)を有していてもよく、mおよびR'は前述のもの と同意義を示す。ここに、イミダゾール環部分が置換分 (a)で置換されている場合、該置換分(a)は、好適 には炭素数1ないし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖 状のアルキル基、置換分(c)を有していてもよい炭素 数6ないし10個を有するアリール基または置換分

(c)を有していてもよい炭素数7ないし11個を有す る直鎖状もしくは分枝鎖状のアラルキル基である。]を 有する化合物を製造する工程であり、前記一般式 (2) 6) [式中のベンゼン環部分は1ないし3個の置換分 (a) を有していてもよく、式中の一方のアミノ基は1 個の置換分(a)で置換されていてもよく、mおよび R'は前述のものと同意義を示す。ここに式中の一方の アミノ基が1個の置換分(a)で置換されている場合、 該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有す る直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c) を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリ ール基または置換分(c)を有していてもよい炭素数フ ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラル キル基である。]を有する化合物を前記一般式(21) [式中の炭素原子は、水素原子の代わりに置換分 (a) を有していてもよく、R''は水素原子または低級アルキ

【0364】上記製造法(VI)中、第11工程で用い られる、1,2ージアミノペンゼン誘導体は下記の方法 により合成することができる。

ル基を示す。]を有する化合物と、第11工程に準じて

[0365]

反応させることにより行われる。

式中のアミノ基が1個の置換分(a)で置換されている 場合、該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個 を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分 (c)を有していてもよい炭素数6ないし10個を有す るアリール基または置換分(c)を有していてもよい炭 **素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状の** アラルキル基である。〕を有する化合物をニトロ化する ことにより行われる。このニトロ化反応は前述の第18 工程に準じて行われる。

【0367】第22工程は前記一般式(20) (式中の ベンゼン環部分は1ないし4個の置換分(a)を有して いてもよく、式中の一方のアミノ基は1個の置換分 (a)で置換されていてもよい。ここに、式中の一方の

アミノ基が1個の置換分(a)で置換されている場合、 該置換分(a)は、好適には炭素数1ないし4個を有す る直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル基、置換分(c) を有していてもよい炭素数6ないし10個を有するアリ ール基または置換分(c)を有していてもよい炭素数7 ないし11個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアラル キル基である。] を有する化合物を製造する工程であ り、前記一般式(28) [式中のペンゼン環部分は1な いし4個の置換分(a)を有していてもよく、式中のア ミノ基は1個の置換分(a)で置換されていてもよい。 ここに、式中のアミノ基が1個の置換分(a)で置換さ れている場合、該置換分(a)は、好適には炭素数1な いし4個を有する直鎖状もしくは分枝鎖状のアルキル 基、置換分(c)を有していてもよい炭素数6ないし1 O個を有するアリール基または置換分(c)を有してい てもよい炭素数7ないし11個を有する直鎖状もしくは 分枝鎖状のアラルキル基である。]を有する化合物を還 元することにより行われる。反応は前述の第19程に準 じて行われる。

【0368】前記の各工程によって得られた目的化合物は、反応終了後、必要に応じて常法、例えばカラムクロマトグラフィー、再結晶法、再沈殿法などによって精製することができる。例えば、反応混合物に溶剤を加えて抽出し、抽出液より溶剤を留去する。得られた残渣をシリカゲル等を用いたカラムクロマトグラフィーに付すことによって精製し、目的化合物の純品を得ることができる。

【0369】本発明の、一般式(1)を有する化合物は インスリン抵抗性、高脂血症、高血糖症、妊娠糖尿病、 肥満症、耐糖能不全状態、糖尿病合併症、動脈硬化症、 白内障および多嚢胞卵巣症候群等を改善し、更にアルド ース還元酵素阻害作用、5-リポキシゲナーゼ阻害作用 および過酸化脂質生成抑制作用を有しており、したがっ て、高脂血症、高血糖症、肥満症、耐糖能不全、高血圧 症、骨粗鬆症、悪液質、脂肪肝、糖尿病合併症、動脈硬 化症、白内障等の予防薬および/または治療薬、および 上記疾病以外の、妊娠糖尿病、多嚢胞卵巣症候群等のよ うなインスリン抵抗性に起因する疾病の予防薬および/ または治療薬、ならびに炎症性疾患、アクネ、日焼け、 乾癬、湿疹、アレルギー性疾患、喘息、GI潰瘍、心血 管性疾患、アテローム性動脈硬化症および虚血性疾患に より惹起される細胞損傷等の予防薬および/または治療 薬として有用である。

【0370】本発明の一般式(1)を有する化合物またはその塩の投与形態としては、例えば錠剤、カプセル剤、顆粒剤、散剤もしくはシロップ剤等による経口投与、または注射剤、座剤もしくは点眼剤等による非経口投与をあげることができる。これらの製剤は賦形剤、滑沢剤、結合剤、崩壊剤、安定剤、矯味矯臭剤、希釈剤などの添加剤を用いて周知の方法で製造される。ここに、賦形剤としては、例えば乳糖、白糖、ぶどう糖、マンニット、ソルビットのような糖誘導体;トウモロコシデン

プン、バレイショデンプン、α*ー デ*ンプン、デキストリ ン、カルボキシメチルデンプンのような澱粉誘導体:結 晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロー ス、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシ メチルセルロース、カルボキシメチルセルロースカルシ ウム、内部架橋カルボキシメチルセルロースナトリウム のようなセルロース誘導体:アラビアゴム:デキストラ ン:プルラン:などの有機系賦形剤:および軽質無水珪 酸、合成珪酸アルミニウム、メタ珪酸アルミン酸マグネ シウムのような珪酸塩誘導体;燐酸カルシウムのような **燐酸塩:炭酸カルシウムのような炭酸塩:硫酸カルシウ** ムのような硫酸塩;などの無機系賦形剤をあげることが できる。滑沢剤としては、例えばステアリン酸、ステア リン酸カルシウム、ステアリン酸マグネシウムのような ステアリン酸金属塩;タルク;コロイドシリカ;ビーガ ム、ゲイ蝋のようなワックス類;硼酸:アジピン酸;硫 酸ナトリウムのような硫酸塩;グリコール;フマル酸; 安息香酸ナトリウム;DL-ロイシン;脂肪酸ナトリウ ム塩;ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸マグネシ ウムのようなラウリル硫酸塩:無水珪酸、珪酸水和物の ような珪酸類:および、上記澱粉誘導体などをあげるこ とができる。結合剤としては、例えばポリビニルピロリ ドン、マクロゴールおよび前記賦形剤と同様の化合物を あげることができる。崩壊剤としては、例えば前記賦形 剤と同様の化合物およびクロスカルメロースナトリウ ム、カルボキシメチルスターチナトリウム、架橋ポリビ ニルピロリドンのような化学修飾されたデンプン・セル ロース類をあげることができる。安定剤としては、例え ばメチルパラベン、プロピルパラベンのようなパラオキ シ安息香酸エステル類;クロロブタノール、ベンジルア ルコール、フェニルエチルアルコールのようなアルコー ル類:塩化ベンザルコニウム:フェノール、クレゾール のようなフェエノール類;チメロサール;デヒドロ酢 酸;およびソルビン酸をあげることができる。矯味矯臭 剤としては、例えば通常使用される、甘味料、酸味料、 香料等をあげることができる。

【0371】本発明の一般式(1)を有する化合物またはその薬理学的に許容される塩の使用量は症状、年齢、投与方法等によって異なるが、例えば経口投与の場合には、成人に対して1日あたり、下限として0.1mg(好ましくは100mg)を1回または数回に分けて、症状に応じて投与することが望ましい。静脈内投与の場合には、成人に対して1日当たり、下限として0.01mg(好ましくは0.1mg)、上限として、500mg(好ましくは50mg)を1回または数回に分けて、症状に応じて投与することが望ましい。

【0372】本発明の前記一般式(1)を有する化合物またはその塩を有効成分として含有する製剤は、例えば

次の方法により製造することができる。

【0373】製剤例1. 散剤

5- [4-(6-メトキシー1-メチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー2、4ージオン(例示化合物番号1-49:以下「化合物A」という。) 4g、ポリビニルピロリドン 10gおよびヒドロキシプロピルメチルセルロース(商品名、TC-5E;信越化学工業(株)製)0.5gを振動ミルを用いて30分間混合粉砕すると、散剤が得られる。

【0374】製剤例2. カプセル剤

化合物A 20gおよびポリビニルピロリドン 20gをアセトン 100gおよびエタノール100gの混合溶剤に溶解し、流動層造粒機を用いてクロスカルメロースナトリウム 200gに混合液を噴霧すると顆粒が得られる。この顆粒 10gにヒドロキシプロピルメチルセルロース(商品名、TC-5E;信越化学工業(株)製) 0.1gおよび乳糖 1.9gを混合する。次いで、ゼラチンカプセルにこの混合物のうちの0.24gを充填すると、カプセル剤が得られる。該カプセル剤は1カプセルあたり 0.1gの化合物Aを含有する。

【0375】製剤例3. 錠剤

化合物A 1gおよびポリビニルピロリドン 1gをアセトン 5gおよびエタノール5gの混合溶剤に溶解し、次いでロータリーエバポレーターを用いて減圧下で有機溶剤を留去する。こうして得られる固形物を粉砕すると細粒が得られる。この細粒 1gに結晶セルロース

0.25g、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース
0.25g、ヒドロキシプロピルメチルセルロース
(商品名、TC-5E;信越化学工業(株)製) 0.05g、乳糖 0.18gおよびステアリン酸マグネシウム 0.2gを混合した後、錠剤機を用いて打錠すると、錠剤が得られる。

[0376]

【実施例】次に実施例および参考例をあげて本発明を更に詳細に説明するが、本発明はこれらに限定されるものではない。

【0377】実施例1

5-[4-(1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン(例示化合物番号 1-11)

Nーメチルー1, 2ーフェニレンジアミン 1.0g、5ー[4ー(エトキシカルボニルメトキシ) ベンジル] チアゾリジンー2, 4ージオン 3.8g、濃塩酸 2 0ml、 1, 4ージオキサン 10mlおよび水 1 0mlの混合物を5時間、加熱還流した。反応混合物より析出した不溶物を3取し、テトラヒドロフランに溶解した後、これに水を加え、炭酸水素ナトリウムで中和した。得られた溶液に酢酸エチルを加えて抽出した。抽出液を食塩水で洗浄した後、無水硫酸ナトリウム上で乾燥

した。抽出液より溶剤を留去して得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル→エタノール)に付し、得られた生成物を更にテトラヒドロフランおよび酢酸エチルを用いて2回再結晶に付すと、融点230℃ないし231℃を有する目的化合物 1.3gが得られた。

【0378】実施例2

5-[4-(6-メトキシー1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2. 4-ジオン(例示化合物番号 1-49)

5-メトキシーN-メチルー1、2-フェニレンジアミ ン 21.8g、5-(4-メトキシカルボニルメチル オキシベンジル) チアゾリジンー 2、4 ージオン 6 3. 4g、1, 4-ジオキサン 250mgおよび濃塩 酸 750mlの混合液を60時間、加熱還流した。反 応混合物を氷冷した後、析出物をろ取した。この析出物 に5%炭酸水素ナトリウム水溶液 800mlを加え、 室温で2時間攪拌した。不溶物をろ取して、N.N-ジ メチルホルムアミド 1000mlおよびメタノール 200m | の混合液に溶解し、更に活性炭を加えて脱色 した。活性炭をろ去した後、溶剤を約50mlまで濃縮 した。これにジエチルエーテル 750mlを加えて室 温で2日間放置した後、析出物をろ取すると、融点26 **フ℃ないし271℃、Rf値=0.68(シリカゲル薄** 層クロマトグラフィー;5%エタノールー塩化メチレン 溶液)を有する目的化合物 20.1gが得られた。

【0379】 実施例3

5- [4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルペンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン(例示化合物番号1-237)

4ーアセトキシーNーメチルー3,5,6ートリメチル -1, 2-フェニレンジアミン 1. 0g、5-(4-メトキシカルボニルメチルオキシベンジル)チアゾリジ ンー2, 4ージオン 2. 7g、1, 4ージオキサン 5mlおよび濃塩酸 25mlの混合物を2日間加熱還 流した。反応混合物を氷水に加えた後、炭酸水素ナトリ ウムで中和し、酢酸エチルで抽出した。抽出液を飽和食 塩水で洗浄した後、無水硫酸マグネシウム上で乾燥し た。抽出液より溶剤を留去した後、残渣をシリカゲルカ ラムクロマトグラフィー(酢酸エチル)に付して精製 し、目的化合物を含むフラクションを分取した。このフ ラクションより溶剤を留去し、紅色油状物を得た。この 油状物にジエチルエーテル 150mlを加え、5分間 超音波振動を与え、析出物をろ取した。この析出物をテ トラヒドロフラン300mlに溶解し、溶剤を約10な いし20mlまで濃縮した。これに酢酸エチル 200 m I を加えた後、20分間超音波振動を与えると、析出 物が生じた。この析出物をろ取すると、融点240℃な いし244℃、Rf値=0.44 (シリカゲル薄層クロ

マトグラフィー;酢酸エチル)を有する目的化合物 O. 52gが得られた。

【0380】実施例4

5-[4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン 塩酸塩 (例示化合物番号1-237の塩酸塩)

5- [4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン 0. 12gを4規定塩化水素-酢酸エチル溶液 3m I に懸濁させた懸濁液を室温で3時間攪拌した後、一夜放置した。反応混合物から不溶物をろ取し、テトラヒドロフラン、酢酸エチル、次いでジエチルエーテルで洗浄すると、融点228℃ないし231℃を有する目的化合物 0. 11gが得られた。

【0381】実施例5

5- [4-(5-アセトキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2, 4-ジオン(例示化合物番号1-250)

5-[4-(5-ヒドロキシ-1, 4, 6, 7-テトラメチルベンズイミダゾールー2ーイルメトキシ)ベンジル] チアゾリジンー2, 4ージオン 0. 12gのピリジン溶液 2m I に無水酢酸 0. 032m I を室温で加え、3時間攪拌し、一夜放置した。反応混合物から溶剤を留去した後、水を加えて酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸マグネシウム上で乾燥した。抽出液から溶剤を留去した後、析出物にジエチルエーテルを加えて、析出物をろ取し、ジエチルエーテルで洗浄すると融点250℃ないし253℃を有する目的化合物 0. 12gが得られた。

【0382】実施例6

5-[4-(5-メトキシー1-メチルベンズイミダゾール-2-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2.4-ジオン(例示化合物番号1-146)

【0383】実施例7

5-[4-(1-ベンジルベンズイミダゾール-5-イルメトキシ) ベンジル] チアゾリジン-2、4-ジオン1/2水和物(例示化合物番号1-229の1/2水和物)

5- [4-(1-ベンジルベンズイミダゾールー5-イルメトキシ)ベンジル] -3-トリフェニルメチルチアゾリジン-2,4-ジオン 0.26g、酢酸3mlおよび水 1mlの混合物を、50℃油浴上で3時間攪拌した。反応混合物を炭酸水素ナトリウム水溶液で中和した後、酢酸エチルで抽出し、抽出液を飽和食塩水で洗浄した。抽出液を無水硫酸ナトリウム上で乾燥した後、溶剤を留去した。残渣をエタノールおよびメタノールの混合液で再結晶すると、融点185℃ないし187℃を有する目的化合物 116mgが得られた。

【0384】参考例1

4-二トロフェノキシ酢酸メチル

4ーニトロフェノール 56g、ブロモ酢酸メチル 9 0g、炭酸カリウム100gおよびジメチルホルムアミド 500mlの混合物を室温で2日間撹拌した。反応終了後、反応混合物よりジメチルホルムアミドを減圧下で留去し、得られた残渣に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水で洗浄した後、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去した後、ヘキサンを用いて結晶化すると、融点98℃ないし99℃を有する目的化合物 63.3gが得られた。

【0385】参考例2

4-アミノフェノキシ酢酸メチル

4ーニトロフェノキシ酢酸メチル(参考例1参照) 3 0.8g、10%パラジウムー炭素 5.0gおよびメタノール 500mlの混合物中へ水素ガスを6時間導入した。反応終了後、反応混合物より不溶物をろ別し、ろ液を減圧留去すると、Rf値=0.79(シリカゲル薄層クロマトグラフィー;酢酸エチル)を有する目的化合物 25.8gが得られた。

【0386】参考例3

<u>4-(2-ブロモー2-ブトキシカルボニルエチルー1</u> ーイル)フェノキシ酢酸メチル

4-アミノフェノキシ酢酸メチル 25.8g(参考例 2参照)を含むメタノールーアセトン(2:5) 263mlの溶液に氷冷下で47%臭化水素酸98gを含む水溶し、続いて亜硝酸ナトリウム 12.8gを含む水溶液 33mlを滴下した。氷冷下、30分間撹拌した後、反応混合物にアクリル酸ブチル18.2gを加え、氷冷下で30分間撹拌し、臭化銅(I) 3.2gを加え、氷冷下で30分間撹拌した。反応終了後、反応混合物よりルで変温で一夜撹拌した。反応終了後、反応混合物よりルで変置去し、得られた残渣に食塩水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を食塩水で洗浄した後、無水硫酸と、ドガウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去すると、ドが重した。抽出液を食塩水で洗浄した後、無水硫酸と、ドガウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去すると、ドガーン:酢酸エチル=5:1)を有する目的化合物を

含む粗生成物 51.7gが得られた。

【0387】参考例4

# <u>5-[4-(エトキシカルポニルメトキシ) ベンジル]</u> チアゾリジン-2、4-ジオン

4ー(2ーブロモー2ーブトキシカルボニルエチルー1ーイル)フェノキシ酢酸メチル(参考例3参照) 100g、チオ尿素 22gおよびエタノール200mlの混合物を2.5時間加熱還流した。次いで、反応混合物に2N塩酸を加え、5時間加熱還流した。反応終了後、反応混合物より溶剤を留去し、得られた残渣に水を加え、酢酸エチルで抽出し、抽出液を無水硫酸マグネシウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:ヘキサン=2:5)に付して精製すると、融点105℃ないし106℃を有する目的化合物 19.4gが得られた。

【0388】参考例5

#### 5-メトキシー2-ニトロアニリン

5-クロロー2ーニトロアニリン 25gの1,4ージオキサン溶液 500mlにナトリウムメトキシドの28%メタノール溶液 70mlを室温で加え、4時間加熱還流した。反応混合物より、溶剤を留去し、得られた残渣に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:4→1:2)に付して精製すると融点124℃ないし128℃を有する目的化合物 16.3gが得られた。

【0389】参考例6

## N-tert-ブトキシカルボニル-5-メトキシ-2 -ニトロアニリン

5ーメトキシー2ーニトロアニリン 16gの無水テトラヒドロフラン溶液500mlにジーtertーブチルジカーボネート 25g、ピリジン15ml、4ージメチルアミノピリジン 0.6gを室温で加え、2時間攪拌した。反応混合物より溶剤を留去し、得られた残渣に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:10)に付して精製すると、融点112℃ないし114℃を有する目的化合物 12.5gが得られた。

【0390】参考例7

# <u>N-tert-ブトキシカルボニル-N-メチル-5-</u> <u>メトキシ-2-ニトロアニリン</u>

水素化ナトリウム (55%以上含有) 12.0gを無水 N, Nージメチルホルムアミド 300m I に懸濁し、この懸濁液に氷冷下、Nーtertーブトキシカルボニルー5ーメトキシー2ーニトロアニリン 49.6gの無水N, Nージメチルホルムアミド溶液 300m I を加え、室温で30分間攪拌した。この混合物にヨウ化メ

チル 17.2m | を室温で加え、1時間攪拌した後、室温で一夜放置した。反応混合物を約1/5 容量まで濃縮した後、氷水に加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水および飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去すると、融点122℃ないし124℃を有する目的化合物 52.1gが得られた。

【0391】参考例8

#### N-メチル-5-メトキシ-2-ニトロアニリン

NーtertーブトキシカルボニルーNーメチルー5ーメトキシー2ーニトロアニリン 52gに4規定塩化水素-1,4ージオキサン溶液 750mlを室温で加え、2時間攪拌した。反応混合物より溶剤を留去した後、水および酢酸エチルを加え、炭酸水素ナトリウムで中和した。この混合物に、更に酢酸エチルを加えて抽出し、抽出液を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去すると、融点107℃ないし110℃を有する目的化合物35.3gが得られた。

【0392】参考例9

# <u>5ーメトキシーNーメチルー1、2ーフェニレンジアミ</u>ン

Nーメチルー5ーメトキシー2ーニトロアニリン 35gのtertーブタノール溶液 900mlと酢酸エチル 100mlの混合液に塩化スズ(II)二水和物 346gを室温で加え、60℃で2時間攪拌した。この混合物に水素化ホウ素ナトリウム 11gを少量ずつ、60℃で約1時間かけて加え、60℃で3時間攪拌した後、室温で2日間放置した。反応混合物を氷水中に加えた後、炭酸水素ナトリウムで中和した。この混合物に飲エチルを加えて抽出し、抽出液を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=3:2)に付して精製すると、尺f値=0.18(シリカゲル薄層クロマトグラフィー;酢酸エチル:nーヘキサン=1:1)を有する目的化合物 21.9gが得られた。

【0393】参考例10

#### トリメチルベンゾキノン

トリメチルハイドロキノン 20gのアセトン 150 m l 溶液に、塩化鉄(III) 25.6gを水 50 m l に懸濁させた懸濁液を室温で加えて1時間攪拌し、2日間放置した。溶剤を約半分まで濃縮した後、水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去した後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:6)に付して精製すると、Rf値=0.48(シリカゲル薄層クロマトグラフィー;酢酸エチル:nーヘキサン=1:6)を有する目的化合物 16.9gが得られた。

【0394】参考例11

2. 3. 6-トリメチルベンゾキノン-4-オキシムトリメチルベンゾキノン 16. 9gのメタノール溶液 150mlに、ヒドロキシルアミン塩酸塩(7. 04g)の水溶液 30mlを室温で加えて2時間攪拌し、2日間放置した。反応混合物に水 1000mlを加えた後、析出物をろ取した。この析出物を酢酸エチルーnーヘキサン混合液で再結晶して精製すると、融点188℃ないし190℃を有する目的化合物 11. 2gが得られた。

【0395】参考例12

4ーヒドロキシー2.3.5ートリメチルアニリン
2.3.6ートリメチルベンゾキノンー4ーオキシム
36.15gと1規定水酸化ナトリウム水溶液 880mlの混合物にハイドロサルファイトナトリウム 152gを氷冷下で加えた後、室温で1時間攪拌し、1夜放置した。反応混合物を氷中に加えて、5規定塩酸水溶液でpHを4乃至5に調整した後、炭酸水素ナトリウムで中和した。これを酢酸エチルで抽出し、抽出液を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去して得られた結晶にイソプロピルエーテルを加えてろ取し、イソプロピルエーテルを加えてろ取し、イソプロピルエーテルを加えてろ取し、イソプロピルエーテルで洗浄すると、融点131℃ないし134℃を有する目的化合物30.1gが得られた。

【0396】参考例13

N-tert-ブトキシカルボニル-4-ヒドロキシ-2, 3, 5-トリメチルアニリン

4ーヒドロキシー2、3、5ートリメチルアニリン 2 Ogのテトラヒドロフラン 500m I溶液に、室温でトリエチルアミン 22.0m Iを加え、更にジーtertーブチルジカーボネート 34.6gを加えて6時間攪拌した後、1夜放置した。反応混合物より溶剤を留去した後、水を加えて酢酸エチルで抽出した。抽出液を飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去して得られた結晶にnーへキサンを加えて結晶をろ取し、nーへキサンで洗浄すると、融点158℃ないし161℃を有する目的化合物31.9gが得られた。

【0397】参考例14

 $\frac{N-x+v-4-t+v-2, 3, 5-t+y+v}{r-y}$ 

無水テトラヒドロフラン 300mlに水素化アルミニウムリチウム 6.8gを懸濁させた懸濁液に、N-tertープトキシカルボニルー4ーヒドロキシー2,3,5ートリメチルアニリン 15gの無水テトラヒドロフラン溶液200mlを氷冷下で加えた後、室温で3時間攪拌し、2時間加熱還流した。反応混合物に水 10mlとテトラヒドロフラン 30mlの混合液を氷冷下で滴下し、過剰の水素化アルミニウムリチウムを分解した。反応混合物を室温で1.5時間攪拌した後、不溶

物をセライトを用いてろ去した。この不溶物を酢酸エチルで洗浄し、洗液とろ液とをあわせ、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。この溶液より溶剤を留去した後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)に付して精製すると、融点120℃ないし122℃を有する目的化合物 5.1gが得られた。

【0398】参考例15

Nーメチルー4ーヒドロキシー2、3、5ートリメチルアニリン 5.0gのテトラヒドロフラン溶液 70m Iにトリエチルアミン 5.0m I およびジーtertーブチルジカーボネート 7.92gのテトラヒドロフラン溶液30m I を室温で加え、1時間攪拌した後、1夜放置した。反応混合物より溶剤を留去した後、水を加えて酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸マグネシウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去して得られた結晶にnーヘキサンを加えて結晶をろ取し、nーヘキサンで洗浄すると、融点163℃ないし166℃を有する目的化合物 7.35gが得られた。

【0399】参考例16

 $\frac{N-t \cdot e \cdot r \cdot t - \overline{J} + \overline{+} \cdot b \cdot h \cdot h \cdot \overline{+} \cdot n - N - \lambda + \overline{+} \cdot h - 4 - A}{P \cdot t + \overline{+} \cdot b - 2, 3, 5 - h \cdot l \cdot \lambda + \overline{+} \cdot h \cdot r - 1}$ 

NーtertーブトキシカルボニルーNーメチルー4ーヒドロキシー2、3、5ートリメチルアニリン 7、2gの無水テトラヒドロフラン溶液 100m!に、無水トリエチルアミン 5.64m!および塩化アセチル 2.9m!を室温で加え、1時間攪拌した後、1夜放置した。反応混合物に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸マグネシウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去した後、残渣に氷冷したnーヘキサンを加えて結晶化した。氷冷したnーヘキサンを加えて結晶をろ取し、氷冷したnーヘキサンで洗浄すると、融点103℃ないし104℃を有する目的化合物6.25gが得られた。

【0400】参考例17

<u>N-メチル-4-アセトキシ-2、3、5-トリメチル</u> アニリン塩酸塩

NーtertーブトキシカルボニルーNーメチルー4ーアセトキシー2、3、5ートリメチルアニリン 5.4 5gに、4規定塩化水素-1、4ージオキサン溶液 100mlを室温で加え、3時間攪拌した。反応混合物より溶剤を留去して得られた結晶にイソプロピルエーテルを加えて結晶をろ取し、イソプロピルエーテルで洗浄すると、融点172℃ないし176℃を有する目的化合物4.36gが得られた。

【0401】参考例18

N-メチル-4-アセトキシ-2、3、5-トリメチル

# <u> -6-ニトロアニリン</u>

Nーメチルー4ーアセトキシー2、3、5ートリメチルアニリン塩酸塩 4.3gを氷冷した濃硝酸に加え、氷冷下で10分間攪拌した後、さらに室温で10分間攪拌した。反応混合物を氷水に加え、炭酸水素ナトリウムで中和した後、酢酸エチルで抽出した。抽出液を飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液より溶剤を留去した後、残渣にイソプロピルエーテル50mlおよびnーヘキサン 50mlを加えて、5分間超音波振動を与えた。不溶の結晶にイソプロピルエーテル:nーヘキサン(=1:1)混合液が沿さと、融点143℃ないし146℃を有する目的化合物 2.76gが得られた。【0402】参考例19

<u>4ーアセトキシーNーメチルー3, 5, 6ートリメチル</u> -1, 2ーフェニレンジアミン

Nーメチルー4ーアセトキシー2、3、5ートリメチルー6ーニトロアニリン2、65gのエタノール 20m I 溶液に、酢酸エチル 20m I および酸化白金 0.2gを加え、室温でこの混合物に水素ガスを3、5時間導入し、更に40℃で3時間導入した。次いで、反応混合物より酸化白金をろ去し、ろ液より溶剤を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:1)に付して精製すると、融点113℃ないし116℃を有する目的化合物 1.3gが得られた。

【0403】参考例20

5-(4-メトキシカルボニルメトキシベンジル)-3
-トリフェニルメチルチアゾリジン-2,4-ジオン
5-(4-ヒドロキシベンジル)-3ートリフェニルメチルチアゾリジン-2,4-ジオン 120gのアセトン溶液 2.5リットルに炭酸セシウム 126gを加え、更にブロモ酢酸メチル 36mlを室温で加え、1時間攪拌した。反応混合物より溶剤を留去した後、水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和食塩水で洗浄した後、無水硫酸マグネシウム上で乾燥した。抽出液から溶剤を留去し、油状残渣にジエチルエーテル1リットルを加え、10分間超音波振動を与えた。析出してくる固体をろ取すると、融点158℃ないし162℃を有する目的化合物 126.3gが得られた。

【0404】参考例21

<u>5-(4-メトキシカルボニルメトキシベンジル)チア</u> ゾリジン-2, 4-ジオン

5-(4-メトキシカルボニルメトキシベンジル)-3 ートリフェニルメチルチアゾリジン-2,4-ジオン 344gを1,4-ジオキサン 400mlに懸濁させ た懸濁液に、酢酸 1700ml、次いで水400ml を室温で加え、80℃で5時間攪拌した。反応混合物か ら溶剤を留去し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラ フィー(酢酸エチル: n-0キサン=1:2 $\rightarrow$ 2:1 $\rightarrow$ 1 酢酸エチルのみ)に付して精製すると、融点100 $^{\circ}$ 2 いし106 $^{\circ}$ 2 を有する目的化合物161.7 gが得られた。

【0405】参考例22

 $N-t e r t - \overline{J} トキシカルボニル-4-メトキシ-2$ -ニトロアニリン

水素化ナトリウム(55%以上含有) 0.72gを無水N、Nージメチルホルムアミド 30m I に懸濁させた懸濁液に、4ーメトキシー2ーニトロアニリン 2.5gの無水N、Nージメチルホルムアミド溶液 30m I を室温で加え、10分間攪拌した。次いでこの反応混合物にジーtertーブチルジカーボネート 3.57gの無水N、Nージメチルホルムアミド溶液 20m I を室温で加えた後、1時間攪拌した。反応混合物を氷に加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水、飽和の金素ので洗浄した後、無水硫酸ナトリウム上で乾燥した。抽出液から溶剤を留去した後、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:20)に付して精製すると、Rf値=0.39(酢酸エチル:nーヘキサン=1:20)を有する目的化合物 1.94gが得られた。

【0406】参考例23

 $\frac{N-t \cdot e \cdot r \cdot t - \overline{J} + \overline{+} \overline{\nu} + \overline{n} \overline{n} \overline{n} - \overline{N} - \sqrt{2} \overline{+} \overline{\nu} - \sqrt{2} \overline{n} - \sqrt{2} \overline{n} \overline{n}$  メトキシー 2 ーニトロアニリン

水素化ナトリウム(55%以上含有) 0.46g、無水N、Nージメチルホルムアミド 15ml、ヨウ化メチル 0.66mlおよびNーtertーブトキシカルボニルー4ーメトキシー2ーニトロアニリン 1.9gの無水N、Nージメチルホルムアミド溶液 15mlを用いて、参考例7に準じて反応および後処理を行うと、Rf値=0.34(酢酸エチル:nーへキサン=1:5)を有する目的化合物 2.0gが得られた。【0407】参考例24

Nーメチルー4ーメ<u>トキシー2ーニ</u>トロアニリン

N-tertーブトキシカルボニル-N-メチル-4-メトキシー2-ニトロアニリン 2.0gおよび4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液 30mlを用いて参考例8に準じて反応および後処理を行うと、Rf値=0.62(酢酸エチル:n-ヘキサン=1:5)を有する目的化合物 1.17gが得られた。

【0408】参考例25

4-メトキシ-N-メチル-1, 2-フェエニレンジア ミン

Nーメチルー4ーメトキシー2ーニトロアニリン 1. 16g、10%パラジウムー炭素触媒 O. 3gおよびエタノール 50mlの混合物に室温で3時間水素ガスを導入した。反応混合物から10%パラジウムー炭素触媒をろ去した後、溶剤を留去すると、Rf値=0.50 (酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)を有する目的化 合物 1.17gが得られた。

【0409】参考例26

### 5-ベンズイミダゾールカルボン酸メチル

5ーベンズイミダゾールカルボン酸 10g、メタノール 150m I および4規定塩化水素-1, 4ージオキサン溶液 100m I の混合物に4時間超音波振動を与えた。反応混合物から溶剤を減圧下で留去した後、残渣にメタノール300m I および水素化ホウ素リチウム3.5gを加え、1時間攪拌した。反応混合物から減圧下で溶剤を留去した後、残渣に食塩水を加えて、酢酸エチルで抽出した。抽出液から溶剤を留去すると、融点136℃ないし138℃を有する目的化合物 5.44g が得られた。

【0410】参考例27

<u>1ーベンジルー5ーベンズイミダゾールカルボン酸メチ</u>ル

5ーベンズイミダゾールカルボン酸メチル 2.8g、 臭化ベンジル 3.52g、炭酸カリウム 3gおよび アセトン 50mlの混合物を室温で3日間攪拌した。 反応混合物から溶剤を留去し、残渣に食塩水を加えて、 酢酸エチルで抽出した。抽出液を無水硫酸ナトリウム上 で乾燥した後、溶剤を留去し、残渣を酢酸エチルおよび nーヘキサンの混合液で再結晶すると、融点156℃な いし162℃を有する目的化合物 0.94gが得られ た。

#### 【0411】参考例28

1 - ベンジル-5 - ベンズイミダゾールメタノール 水素化アルミニウムリチウム 0.23gを無水テトラヒドロフラン 10mlに懸濁させた懸濁液に、1 - ベンジル-5 - ベンズイミダゾールカルボン酸メチル 0.87gの無水テトラヒドロフラン溶液 18mlを 水冷下で滴下し、混合物を室温で2時間攪拌した。更に、反応混合物に水素化アルミニウムリチウム 0.1 1gおよび無水テトラヒドロフラン 10mlを加えて、室温で1時間、ついで50℃油浴上で4.5時間攪拌し、更に2時間加熱還流した。反応混合物を放冷した 後、過剰量の硫酸ナトリウム10水和物を加え、室温で2時間攪拌した。反応混合物をセライトを用いてろ過し、ろ液から溶剤を留去した。残渣をエタノールおよびジイソプロピルエーテルの混合液で再結晶すると、融点148℃ないし150℃を有する目的化合物 383mgが得られた。

【0412】参考例29

5-[4-(1-ベンジルベンズイミダゾール-5-イルメトキシ) ベンジル] -3-トリフェニルメチルチア ゾリジン-2, 4-ジオン

5ー(4ーヒドロキシベンジル)-3ートリフェニルメチルチアゾリジン-2、4ージオン 822mg、アゾジカルボニルジピペリジン 454mg、無水トルエン6mlおよびトリブチルホスフィン 0.44mlの混合物を室温で30分間攪拌した。反応混合物に1ーベンジルー5ーベンズイミダゾールメタノール 349mgを加え、3時間攪拌した後、室温で10日間放置した。反応混合物から溶剤を留去し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=3:1→1:0)に付して精製すると、軟化点90℃ないし91℃を有する目的化合物 0.32gが得られた。

# 【0413】試験例1 血糖降下作用

体重 40g以上で高血糖状態を示す雄性 KK マウスに 各化合物を ポリエチレングリコール400:水=1:1の溶剤に混合して経口投与し、飽食条件下で18時間 放置した。次いで無麻酔下で尾静脈より採血し、グルコースアナライザー GL-101(商標名、三菱化成(株)製)またはグルコローダーーF(商標名、シノテスト(株)製)にて血糖値を測定した。血糖降下率は 以下の式より求めた。

血糖降下率(%)= [(溶剤投与群血糖値-化合物投与 群血糖値)/溶剤投与群血糖値]×100 結果を以下に示す。

[0414]

【表138】

表 6

実施例番号	投与量(mg/kg)	血糖降下率(%)
1	1	36.2
2	1	27. 2
3	1	11. 2
4	1	19. 3

表から、本発明の化合物は優れた効果を示した。

【 O 4 1 5 】試験例 2 <u>アルドース還元酵素阻害作用</u> 牛の水晶体のアルドース還元酵素はS. Hyman およびJ. H. Kinoshita [J. Biol. Chem. 、240巻、877 頁 (1965年)] お よびK. Inagaki, I. Miwa およびJ. Okuda [Arch. Biochem. Biophys. 、216 巻、337 頁 (1982年)] に記載の方法に よって分離および部分精製した。そして、その活性はVarma et al. [Biochem. Pharmac.、25 巻、2505頁 (1976年)]に記載の方法により光度的に測定した。酵素活性の阻害は本発明の化合物の $5 \mu$  g/ml 濃度で測定した。

【0416】結果を以下の表に示す。

[0417]

【表139】

表 7

実施例番号	5 μ g / m l į 阻害率(%)	<b>農度における</b>	I C50 (μg/ml)
1	80.	3	0. 77
3	79.	6	1.40

#### 【0418】試験例3 毒性

実験動物としてF344系雄性ラットを用いた。実験には一群5匹を用いた。被験化合物は各動物に経口で50mg/mI体重量が2週間投与された。被験化合物は実施例1および2で得られた化合物である。動物は投与後2週間観察された。そして、その期間中、被験化合物に起因した異常はなんら見られなかった。各動物に対する実質投与量の観点から、死亡率0は本発明の化合物の毒性が非常に低いことを示している。

#### [0419]

【発明の効果】本発明の一般式(1)を有する縮合複素 環化合物またはその塩は、インスリン抵抗性、高脂血 症、高血糖症、妊娠糖尿病、肥満症、耐糖能不全状態、 糖尿病合併症、動脈硬化症、白内障および多嚢胞卵巣症候群等を改善し、更にアルドース還元酵素阻害作用、5ーリポキシゲナーゼ阻害作用および過酸化脂質生成抑制作用を有しており、したがって高脂血症、高血糖症、肥満症、耐糖能不全、高血圧症、骨粗鬆症、悪液質、脂肪肝、糖尿病合併症、動脈硬化症、白内障等の予防薬および/または治療薬、および上記疾病以外の、妊娠糖尿病、多嚢胞卵巣症候群等のようなインスリン抵抗性に起因する疾病の予防薬および/または治療薬、ならびに炎症性疾患、アクネ、日焼け、乾癬、湿疹、アレルギー性疾患、喘息、GI潰瘍、心血管性疾患、アテローム性動脈硬化症および虚血性疾患により惹起される細胞損傷等の予防薬および/または治療薬として有用である。

フロントページの続き					
(51) Int. Cl. 6	識別記号	庁内整理番号	FI		技術表示箇所
A 6 1 K 31/42	ADA		A 6 1 K 31/42	ADA	
	ADN			ADN	
	AGZ			AGZ	
31/425	ABL		31/425	ABL	
	ABX			ABX	
	ACV			ACV	
	ADP			ADP	
	AED			AED	
CO7D 235/12			CO7D 235/12		
413/12	235		413/12	2 3 5	
417/12	235		417/12	235	
//(CO7D 413/12					
235:12					
263:20)					
(CO7D 413/12					
235:06					
263:20)					
(CO7D 413/12					
235:12					
271:06)					
(CO7D 413/12					
235:06					
271:06)					
(CO7D 417/12					